

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。
よく読んでお守りください。

■本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害、または事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや本来の性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

■グレードにより異なる装備、またはオプションのため、すべての車に付いていない装備は★マークで表示しています。

■参照して読んで頂きたいページなどを、🔍マークで表示しています。

■オートマチック車には、E-ATx車とエクストロニックCVT車の2種類があります。本書の中では次のように使い分けしています。

●4AT車とは……………E-ATx車を示す。

●CVT車とは……………エクストロニックCVT車を示す。

●オートマチック車とは……4AT車とCVT車両方を示す。

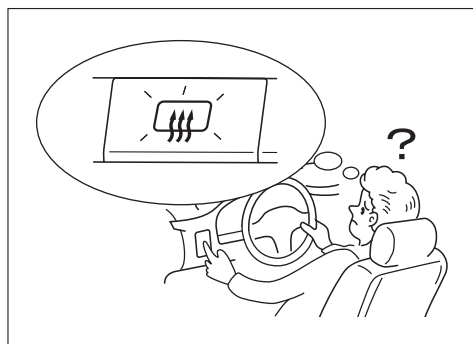
■マツダ販売店で取り付けられた装備については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。

■点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

■その他、ご不明な点はマツダ販売店にお申しつけください。

- ・ 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- ・ 自然環境保護に配慮してください。
- ・ 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- ・ お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- ・ 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、
色々な検索方法を用意しています。



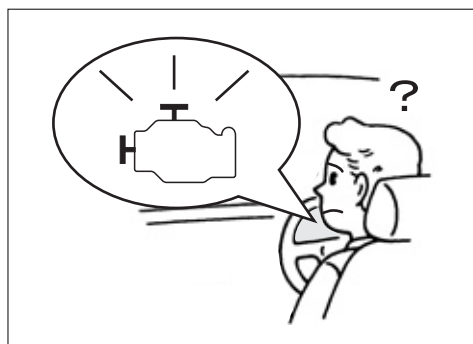
取り付け位置から探す

イラスト目次 4



名称・タイトルから探す

五十音さくいん 197
アルファベットさくいん... 202



警告灯から探す

警告灯さくいん 203

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と上手な
付き合い方

万のとき

サービスデー
タ

さくいん

イラスト目次	4
--------	---

1. 必ずお読みください

お出かけまえには	12	オートマチック車を運転するときは	21
お子さまを乗せるときは	15	こんなことにも注意	23
走行するときは	17	こんなときは異常ではありません	25
駐・停車するときは	20	イベントデータレコーダ	26

2. 走行する前に

各部の開閉のしかた	28	リヤシート	45
キー	28	ドアミラー	47
キーレスエントリーシステム	28	ルームミラー	49
ドアについて	30	シートベルトの着用のしかた	50
フロント・リヤドア	30	シートベルトの正しい着用	50
バックドア	32	シートベルトの着用のしかた	53
ボンネット	34	フロントシート プリテンショナー&	
パワーウィンドー	35	ロードリミッター機構付	
手動式ウィンドー	38	シートベルト	56
燃料補給口	38	チャイルドシート	57
ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた	40	チャイルドシート適合表	57
正しい運転姿勢	40	SRSエアバッグ	58
ハンドル	41	SRSエアバッグの作動	58
フロントシート	41	SRSエアバッグが作動するとき・しないとき	61

3. 走行するとき

メーター・表示灯・警告灯の見かた	64	キースイッチ	88
メーター	64	パーキングブレーキ	89
表示灯	67	セレクトレバーの使いかた	
警告灯	70	(4AT車)	90
警報装置	79	セレクトレバーの使いかた	
スイッチの使いかた	81	(CVT車)	94
ライトスイッチ	81	エンジンのかけかた	96
方向指示器スイッチ	83	オートマチック車の運転のしかた	98
非常点滅表示灯スイッチ	84	4WD (4輪駆動) 車の扱いかた	103
ヘッドランプレベリングスイッチ	84	DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール)	104
ワイパー・ウオッシャースイッチ	85	LDW (車線逸脱警報)	107
リヤウィンドーデフォッガー		エマージェンシーブレーキ	110
スイッチ	87	ABS	114
ホーンスイッチ	87		
運転のしかた	88		

4. 室内装備の使いかた

エアコンの使いかた	116
エアコンについて	116
吹き出し口について	117
オゾンセーフマニュアルエアコン	119
オーディオの使いかた	121
オーディオについて	121
アンテナについて	121
AM/FMラジオ	123
室内装備品の使いかた	127
サンバイザー	127
時計	127
マップランプ	128
ルームランプ	129

ラゲッジルームランプ	130
電源ソケット	130
カップホルダー	131
ペンホルダー	133
ビジネスファイルボックス	133
グローブボックス	134
ショッピングフック	134
アシストグリップ	135
リヤコートフック	135
カードホルダー	135
電源コンセント	
(AC100V・100W)	136
フロアカーペット	137

5. 車との上手なつきあいかた

快適ドライブのために	140
雨の日の快適ドライブ	140
夏の快適ドライブ	141
寒冷時の取り扱い	142
タイヤチェーンについて	146

お手入れのしかた	147
外装のお手入れ	147
内装のお手入れ	149
その他のお手入れ	150
タイヤの交換	151

6. 万ーのとき

ドアが開かないときは	154
リモコンでドアが開かない	154
エンジンが始動しないときは	155
ジャンプスタートのしかた	155
各種警告機能について	157
警告灯がついたときは	157
くもりが取れないときは	162
窓ガラスのくもりの取りかた	162
動かないときは	164
セレクトレバーが動かない	164
雪道やぬかるみからの 脱出のしかた	165
けん引について	165
路上で故障したときは	168

発炎筒の使いかた	168
故障したときの対処方法	169
工具・ジャッキ・ スペアタイヤについて	170
格納場所	170
スペアタイヤについて	171
ジャッキアップのしかた	173
パンクしたときは	176
タイヤ交換のしかた	176
オーバーヒートしたときは	180
ヒューズを点検・交換するときは	181
電球（バルブ）を交換するときは	183
事故がおきたときは	189

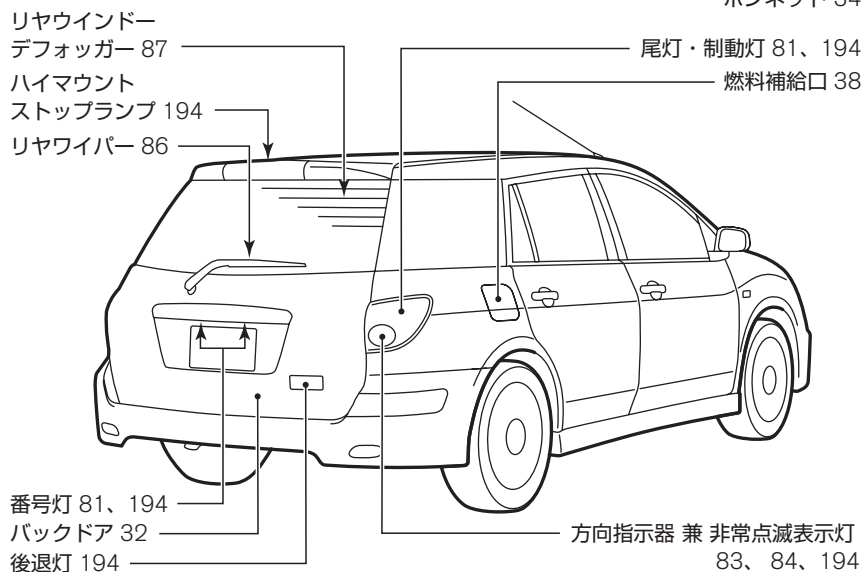
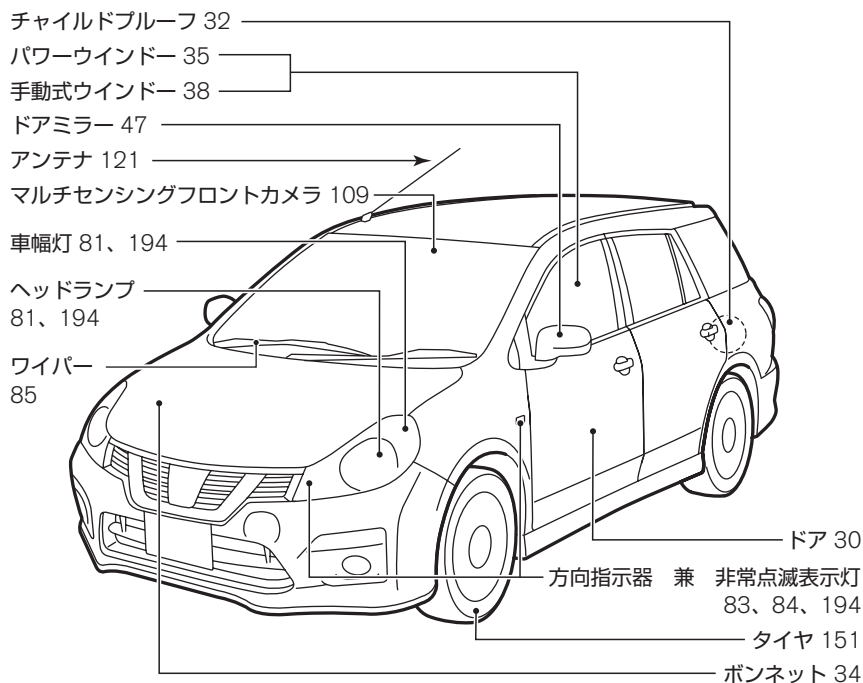
サービスデータ

サービスデータ	191
---------	-----

さくいん

五十音さくいん	197
アルファベットさくいん	202

警告灯さくいん	203
---------	-----



目次



走行する前に

走行するとき

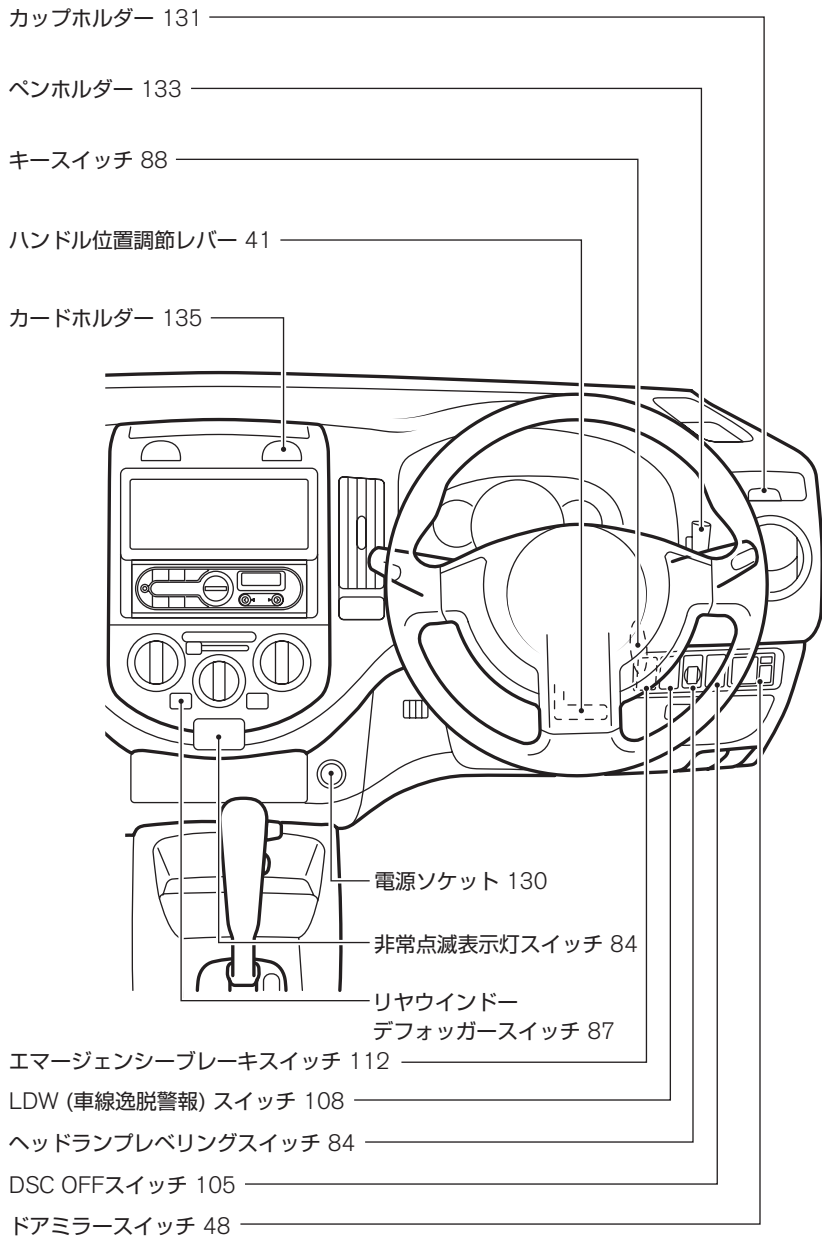
 室内装備の
使いかた

 車との上手な
つきあい

万のとき

 サービスデー
タ

さくいん



ZSI0526

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

オーディオ 121

エアコン 116

ショッピングフック 134

助手席SRS

エアバッグシステム 58

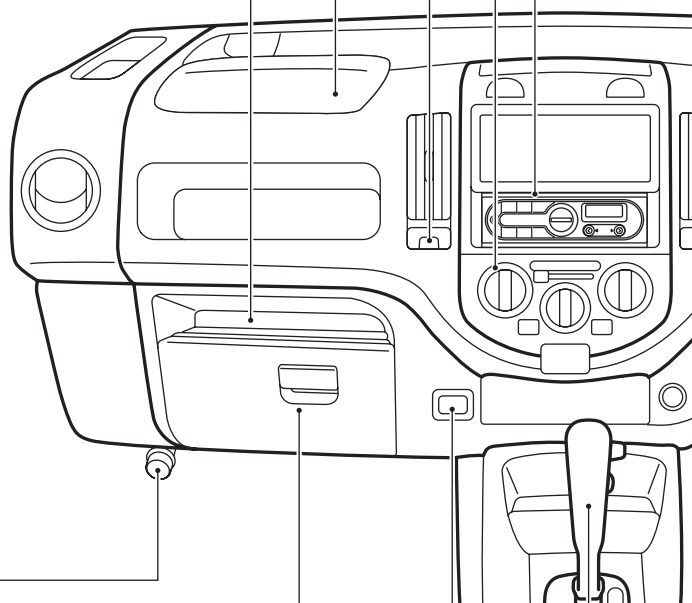
ビジネスファイルボックス 133

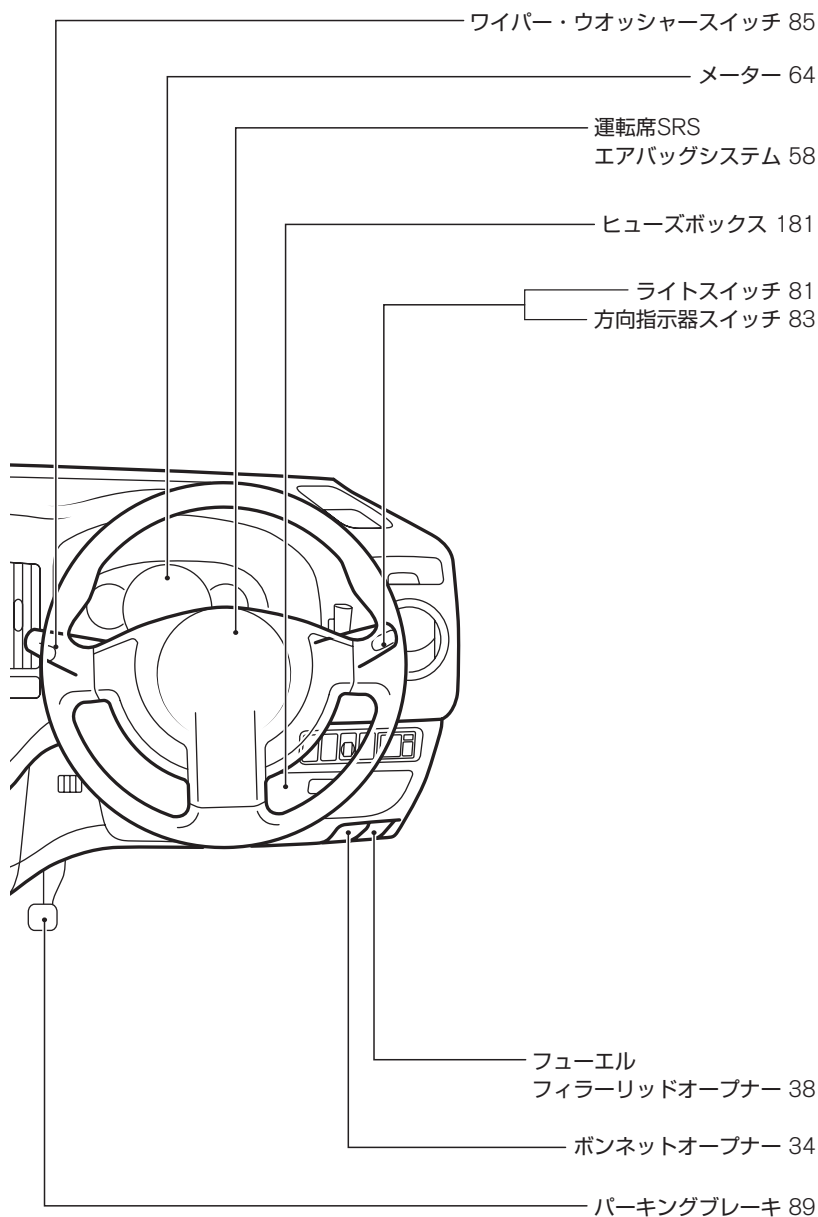
発炎筒 168

グローブボックス 134

電源コンセント 136

セレクトレバー 90、94





目次



走行する前に

走行するとき

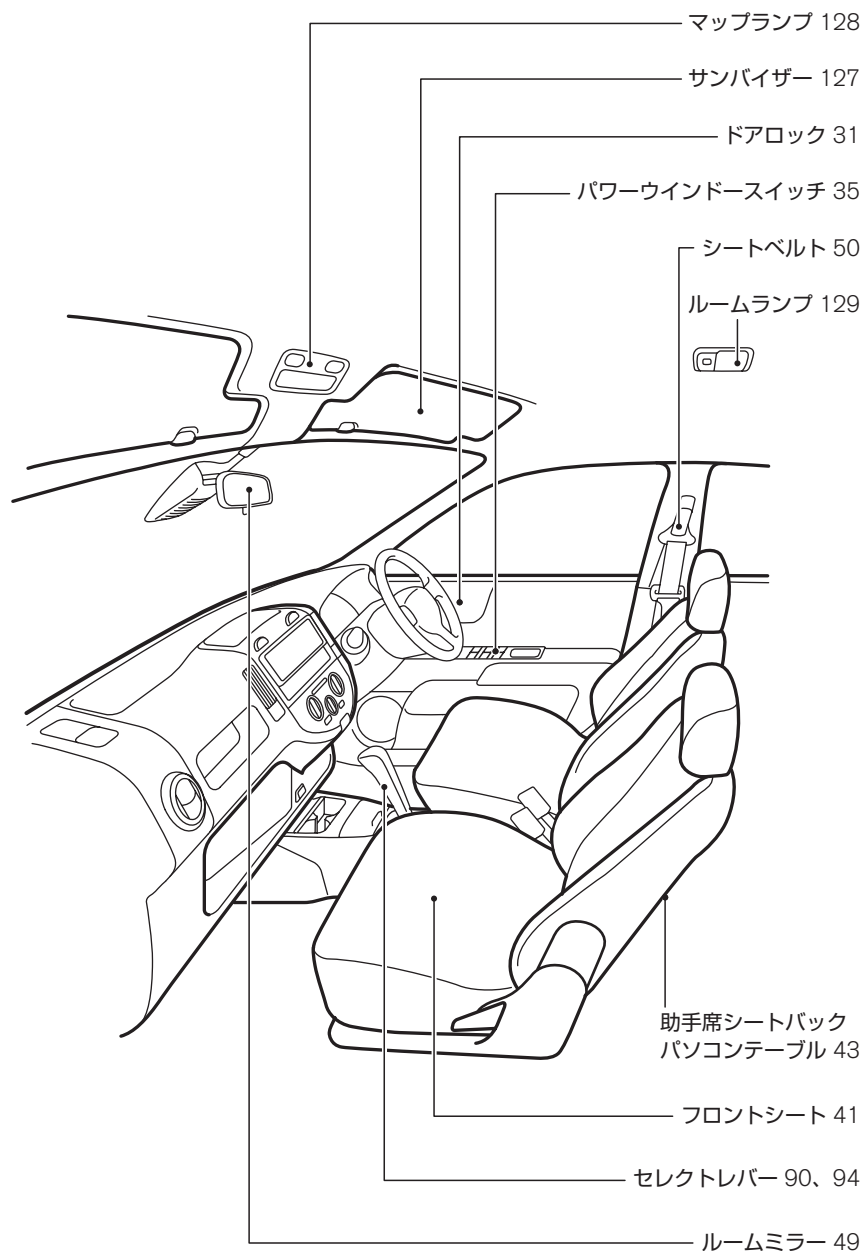
室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあい

万のとき

サービスデータ

さくいん



目次



走行する前に

走行するとき

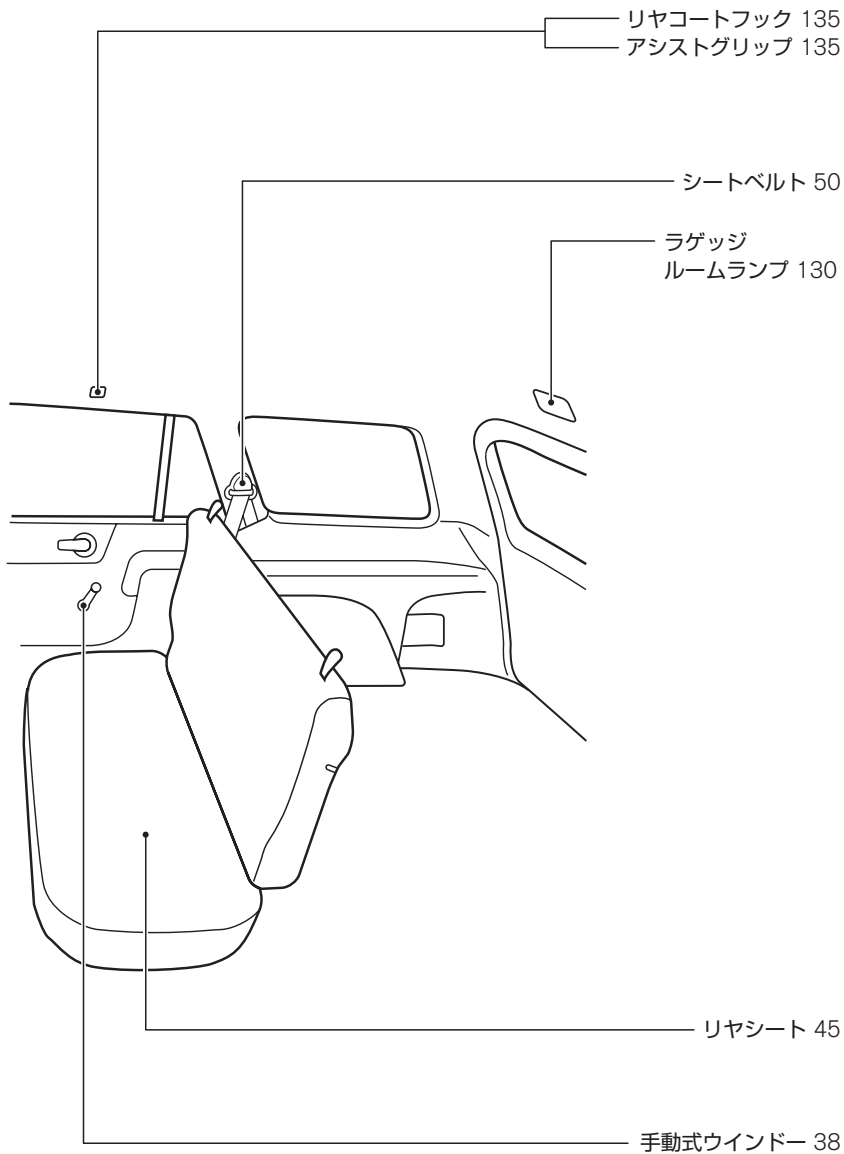
室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万のとき

サービスデータ

さくいん



必ずお読みください

1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

●お出かけまえには……………	12
●お子さまを乗せるときは……………	15
●走行するときは……………	17
●駐・停車するときは……………	20
●オートマチック車を運転するときは……………	21
●こんなことにも注意……………	23
●こんなときは異常ではありません……………	25
●イベントデータレコーダ……………	26

目次

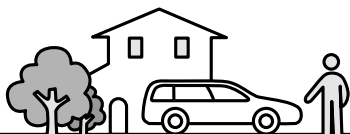
警告

走行する前に

走行するとき

室内
装備
の
使
い
か
た車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た万
一
の
と
きサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

- ・車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
- 車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
- 🔍 メンテナンスノートをお読みください。
- ・いつもと違うことに気がいたらマツダ販売店で点検を受けてください。
(音、振動、臭い、水・油漏れなど)



TCA0001Z

タイヤの空気圧を点検する

- ・タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- 🔍 タイヤ空気圧の点検…P.151

バッテリーの液量を点検する

- ・バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、または充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
- 🔍 メンテナンスノートをお読みください。

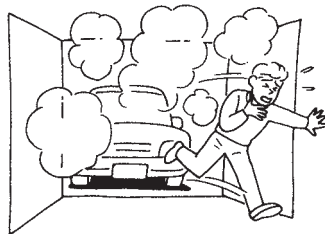
車にあった燃料を補給

- ・指定以外の燃料は補給しないでください。
- ・軽油や有鉛ガソリン、粗悪な燃料を使用すると車に悪影響を与えます。

エンジン型式	使用燃料
HR15DE HR16DE	無鉛レギュラー ガソリン

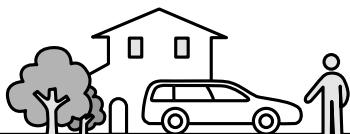
車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

- ・車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- ・排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、マツダ販売店で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。



TCA0002Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

- ・走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

シートベルトは正しく着用

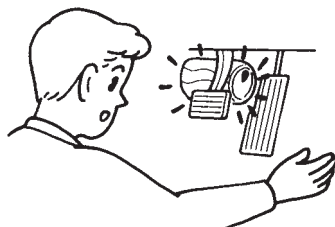
- ・走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
- ・シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できません。また、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。



TCA0003Z

運転席足元には物を置かない

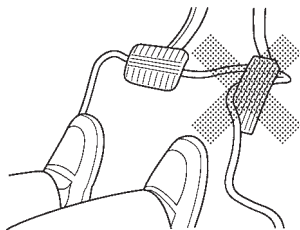
- ・足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
- ・ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

- ・この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり、ブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



ESD0143Z

🔍フロアカーペット…P.137

目次

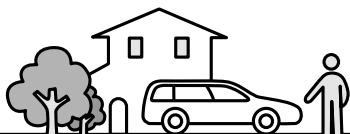
⚠️ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使用かたつ車と
きのあ
い上手
な万一の
ときサービ
スデー
タさくい
ん

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

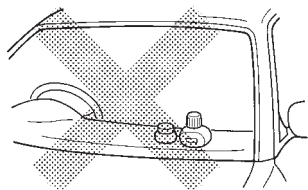
- ・ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。



TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

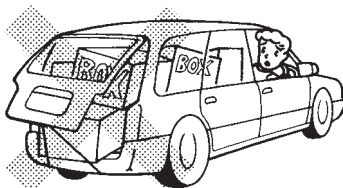
- ・アクセサリや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0006Z

荷物を積みすぎない

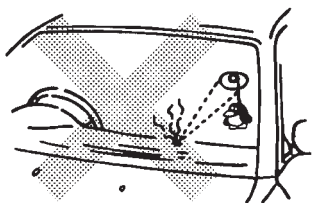
- ・車両及び車検証に記載されている積載量以上の荷物を積まないでください。



TCA0244Z

アクセサリーの取り付けに注意

- ・ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

お子さまはリヤシートに

- ・助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になるだけでなく、スイッチ、レバー類のいたずらなどにより安全運転の妨げになるおそれがあります。
- また、助手席SRSエアバッグの格納部に身体を近づけないでください。万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

- ・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトの着用のしかた…P.53

目次

⚠️ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と
あの手な
つかい

万
一の
とき

サー
ビス
デー
タ

さ
く
い
ん

⚠️重要です。しっかりお読みください。



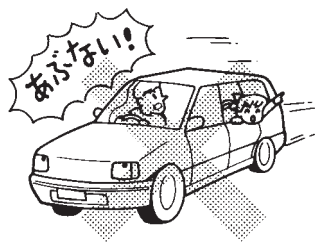
お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ・ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・チャイルドブルーフ（○P.32）やパワーウインドーロックスイッチ（○P.37）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

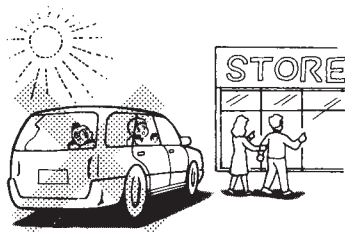
- ・お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TCC0005Z

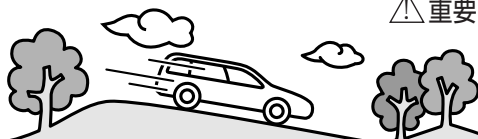
車内にお子さまだけを残さない

- ・車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- ・お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0245Z

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

車のためにならし運転を

- ・エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。

走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中は電話をしない

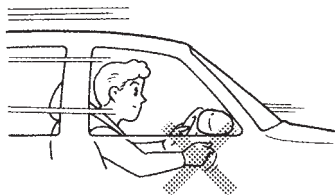
- ・運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0031Z

走行中はエンジンを止めない

- ・エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪くなります。また、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

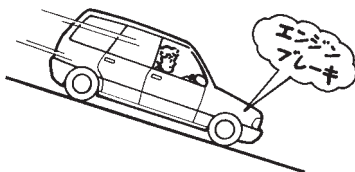


TCG0048Z

長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

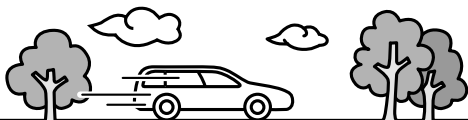
- ・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
- ・4AT車はセレクトレバーを**2**、または**1**に入れます。
- CVT車は坂の勾配に応じて最適なエンジンブレーキになるよう自動化してありますが、特に強いエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを**1**に入れます。

●下り坂の走行…P.100



TCB0065Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

- ・路面がぬれると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけてください。
- ・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- ・冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

- ・道路の縁石などにタイヤの側面を接触させないでください。また、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

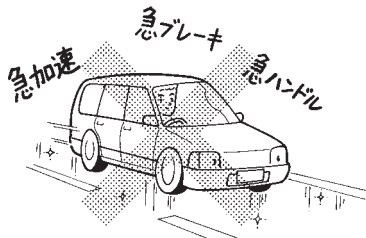
- ・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。
- ・効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



TCA0557Z

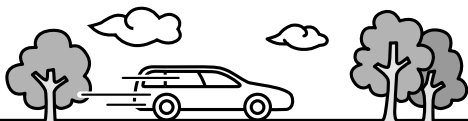
滑りやすい路面を走行するときは慎重に

- ・ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。
- ・急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0558Z

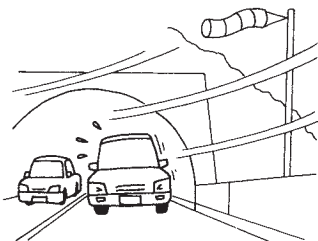
⚠ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

横風が強いときは

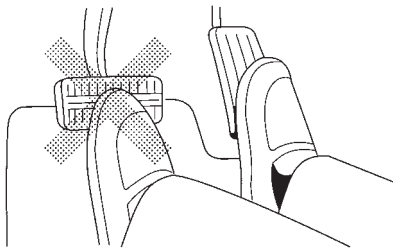
- ・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。
- ・トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCA0018Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

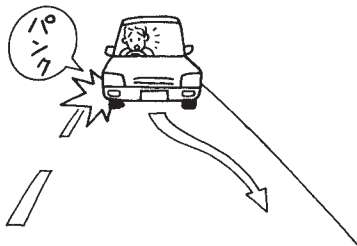
- ・ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱することにより効きが悪くなるおそれがあります。



TCA0019Z

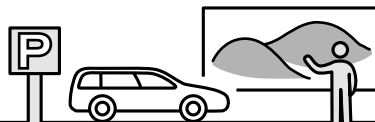
走行中に異常があったら

- ・警告灯（**OP.70**）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。
- ・床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、マツダ販売店に連絡してください。



TCA0020Z

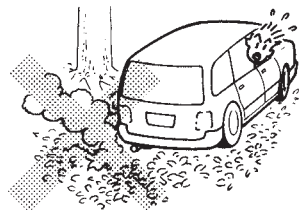
⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

- ・ 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。



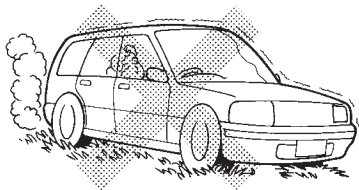
TCA0247Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

- ・ 無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながったりするおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。
- ・ お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしないでください。貴重品を置いたままにしないでください。
- ・ 坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れてください。更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

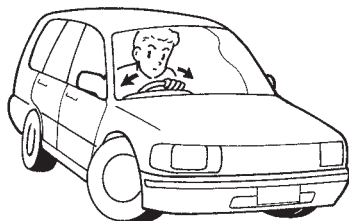
- ・ 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。
- ・ 以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
 - * 雪が積もった場所や降雪時
 - * 壁などに囲まれた換気の悪い場所
 - * 他車の排気口が近くにあるとき



TCA0559Z

ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

- ・ 車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。
- 詳しくは、EPS（電動パワーステアリング）警告灯…P.75をお読みください。



TCA0560Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



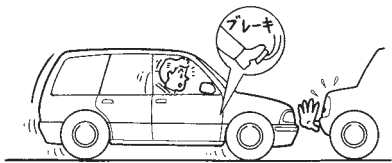
オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

🔍詳しくは、P.98の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリーブ現象に注意

- ・エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリーブ現象といいます。）
- ・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



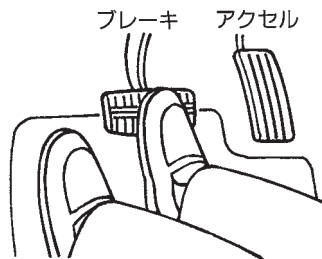
TCA0250Z

キックダウンは適切に

- ・セレクトレバーがDで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）
- ・滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ・ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
- ・アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- ・発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
 - ・後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。
- 🔍セレクトレバー…P90、94

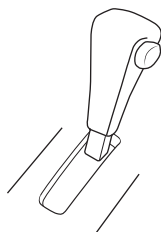
⚠️重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

- ・エンジンをかけるときは**P**、前進するときは**D**、後退するときは**R**にあることを目で確認してください。
- ・キースイッチがONのとき、セレクトレバーを**R**に入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。(車外の人に注意するものではありません。)

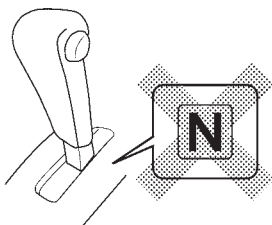


P

ESG0683Z

走行中は**N**にしない

- ・走行中にセレクトレバーを**N**にすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。



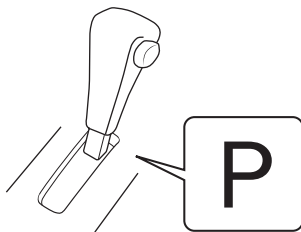
ESF0302Z

無用な空吹かしはしない

- ・万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときは**P**にする

- ・エンジンがかかったまま、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESF0303Z

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

- ・キースイッチがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、**P**からセレクトレバーを動かすことができません。
- ・セレクトレバーを**P**に入れないと、キースイッチからキーが抜けません。
- ・セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

違法改造はしない

- ・車の性能や機能に適さない部品を装着しないでください。また、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

違法改造



TCA0030Z

- ・次のような場合にはマツダ販売店にご相談ください。

*タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

*電装品などの取り付け

適切でない電装品などを取り付けしないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼすおそれがあります。また、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。

バッテリーがあがる可能性があります。

(詳しくは、マツダ販売店へご相談ください。)

*ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

炎天下で駐車するときは

- ・炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

- ・操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れないでください。また、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

- ・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

- ・ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し危険です。
- ・冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

冷却水に添加剤などを入れない

- ・冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。
- ・冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラント（青）、または純正ロングライフクーラントを必ずご使用ください。

無線送信機の取り付けについて

- ・お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響を及ぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずマツダ販売店にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をマツダ販売店にてご提供します。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

- ・診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けしないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯するなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について

- ・フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラ★を避け、車内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
- マルチセンシングフロントカメラの取り扱い
…P.109

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

- ・朝一番及び長時間駐車後の走り始め、または降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。
- ・これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

- ・ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。
- また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
- ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、マツダ販売店にご相談ください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
あんな
上手な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

・この車両に装備されている以下システムの各コンピュータはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。

以下システムの各コンピュータは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

・SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- *エアバッグシステムの作動に関する情報
- *エアバッグシステムの故障診断情報



知識

・EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

・マツダおよびマツダが委託した第三者は、EDRに記録されたデータをマツダの車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、マツダおよびマツダが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- *車両の使用者の同意がある場合
- *裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- *統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

走行する前に

2

●各部の開閉のしかた	28
キー	28
キーレスエントリーシステム	28
ドアについて	30
フロント・リヤドア	30
バックドア	32
ボンネット	34
パワーウィンドー	35
手動式ウィンドー	38
燃料補給口	38
●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた	40
正しい運転姿勢	40
ハンドル	41
フロントシート	41
リヤシート	45
ドアミラー	47
ルームミラー	49
●シートベルトの着用のしかた	50
シートベルトの正しい着用	50
シートベルトの着用のしかた	53
フロントシート プリテンショナー& ロードリミッター機構付シートベルト	56
●チャイルドシート	57
チャイルドシート適合表	57
●SRSエアバッグ	58
SRSエアバッグの作動	58
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき	61

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装
い
かた
の
備車と
あ
い
か
手
な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

各部の開閉のしかた

キ ー

- ・キーは2本ついてきます。



キー番号タグ → 0 0 0 0 0 0

TSC1451Z



知識

- ・キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにマツダ販売店にご相談ください。
- ・キー番号を打刻したタグは、大切に保管してください。キー番号をマツダ販売店に連絡すると購入できます。

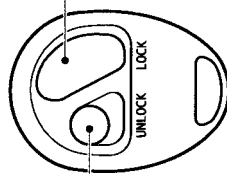
キーレスエントリーシステム

離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

■使いかた

- ・車に近づき、リモコンのスイッチを押します。
- ・施錠・解錠時に、非常点滅表示灯が点滅します。
（施錠時：1回、解錠時：2回）
- ・施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

施錠スイッチ



解錠スイッチ

TSD0215Z

スイッチ	作 動
施錠スイッチ	全ドアを施錠します。
解錠スイッチ	全ドアを解錠します。

オートロック機能

- ・解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

■作動しないとき

- ・ 次のような場合は作動しません。
 - * キーをキースイッチに差し込んでいるとき。
 - * ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
 - * 車から離れすぎているとき。
 - * リモコンの電池が切れているとき。



警告

- ・ 航空機内ではリモコンのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万が一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。



アドバイス

- ・ 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
- ・ リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - * 長時間高温になる場所に置かないでください。
 - * 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
 - * 水にぬらさないでください。



知識

- ・ リモコンは同じ車両で最大5個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、マツダ販売店にご相談ください。
- ・ リモコンを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにマツダ販売店にご相談ください。
- ・ スイッチを押しても作動しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池の交換は、マツダ販売店にご相談ください。

キー連動室内照明システム

- ・ ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯します。（P.129）

ドアについて

⚠ 警告

- ・ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- ・走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。

📖 知識

- ・ドアハンドルを引きながら解錠しようすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

フロント・リヤドア

📖 知識

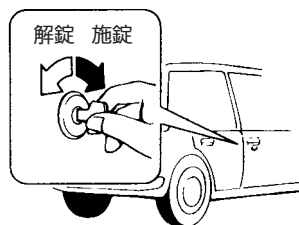
キー連動室内照明システム

- ・運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯します。(P.129)

■キーによる施錠・解錠

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

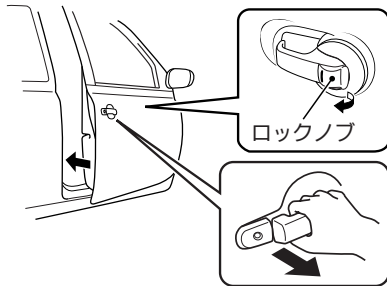
- ・運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。



TSA2011Z

■キーを使わない施錠

- ・フロントドアは車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。
- ・リヤドアは車内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。



ESE1460Z

🚗 アドバイス

- ・キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

📖 知識

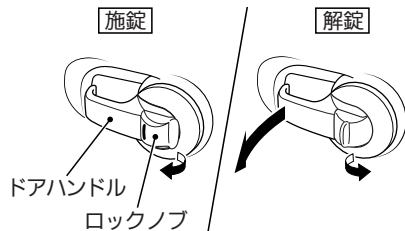
- ・運転席ドアが開いていて、キースイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ロックノブで施錠できません。

■リモコンによる施錠・解錠

- ・車に近づき、リモコンのスイッチを押します。(P.28)

■ロックノブによる施錠・解錠

- ・車内のロックノブを車両前方に押し込むと施錠し、車両後方に押し込むと解錠します。
- ・運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に施錠・解錠します。
- ・ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。



ESG0727Z

📖 知識

- ・運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

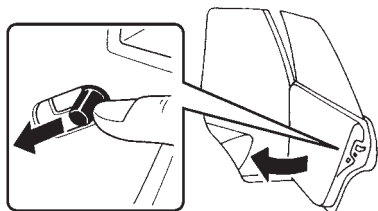
チャイルドブローフ

車内のロックノブの位置に関係なく、リヤドアを車内から開けられなくなります。

- ・お子さまを乗せるときに使います。

■施錠のしかた

- ・左右のリヤドアにあるロックレバーをLOCK側にしてドアを閉めます。



ESF0676Z

- * ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

■ドアを開けるとき

- ・ロック作動中にドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠し、車外からドアハンドルを引きます。



知識

- ・車内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を出して車外のドアハンドルを引きます。

バックドア

⚠ 警告

- ・ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・走行前に、バックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。バックドアを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミ等の重量物を取り除いてください。重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- ・バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- ・風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- ・バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。

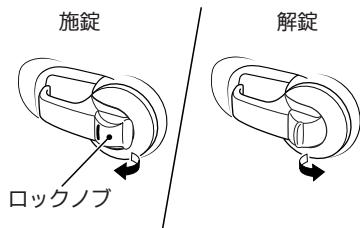
施錠・解錠のしかた

■リモコンによる施錠・解錠

- ・ 車に近づき、リモコンのスイッチを押します。(P.28)

■ロックノブによる施錠・解錠

- ・ 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、バックドアが同時に施錠・解錠します。

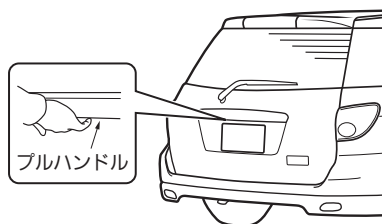


ESD0718Z

開閉のしかた

■開けかた

- ・ 解錠後、プルハンドルを引き上げバックドアを持ち上げます。



ESG0908Z

■閉めかた

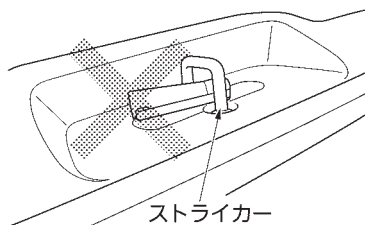
- ・ バックドアを降ろし、確実にロックするまで押しつけます。

⚠ 注意

- ・ バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- ・ バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。

🚗 アドバイス

- ・ バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物をかみ込まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



ESF0147Z

ボンネット

■開けかた

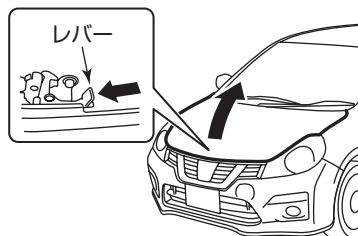
- ①運転席右下にあるオープナーを引きます。

ロックが外れボンネットの先端が少し浮き上がります。



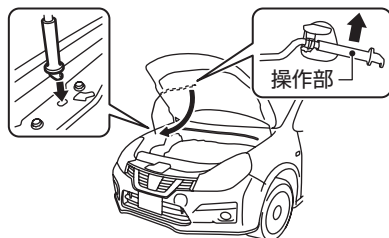
ESG0728Z

- ②ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



ZIC0786

- ③ステーの操作部を持ってフックから外し、エンジンルーム内にある穴に確実に差し込みます。



ZIC0787

⚠ 注意

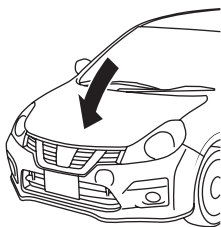
- ・風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- ・ステーを持つときは、必ず操作部を持ってください。エンジン停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ・ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないように注意してください。
- ・エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- ・エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。

■閉めかた

- ①ボンネットを支えながらステーの操作部を持って穴から外し、フックに固定します。
- ②ボンネットをゆっくり降ろして20cm～30cmの高さからボンネットを落とし、確実にロックします。



ZIC0790

！ 警告

- ・走行前に、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中ボンネットが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

！ 注意

- ・ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

パワーウィンドー★

キースイッチがONのとき操作できません。

！ 警告

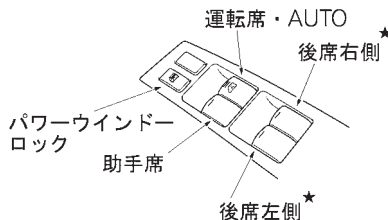
- ・走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。走行中に車外のものに当たる、また、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- ・お子さまを乗せているときは、パワーウィンドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

- ・運転席のパワーウィンドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席・後席★窓ガラスの操作ができません。

■運転席スイッチでの開閉

運転席ドア部のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。

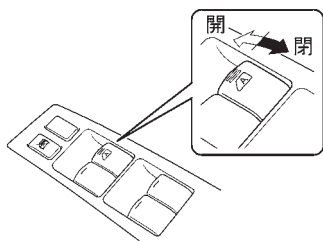


ZIC0148

運転席の窓ガラス

運転席・AUTOスイッチで開閉します。

- ・スイッチを軽く押している間、開きます。
強く押すと自動で全開します。
- ・スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。
強く引き上げると自動で全閉します。
- ・自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。



ZIC0150

*イラストは、後席パワーウィンドー付車です。

知識

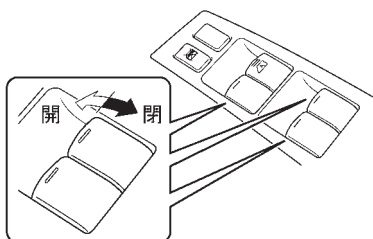
キーOFF後作動機構

- ・運転席の窓ガラスはキースイッチをAcc、または（OFF）、LOCKにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

助手席・後席★の窓ガラス

各席用のスイッチで開閉します。

- ・スイッチを軽く押している間、開きます。
- ・スイッチを引き上げている間、閉まります。

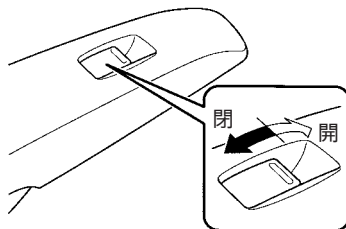


ZIC0149

*イラストは、後席パワーウィンドー付車です。

■助手席スイッチでの開閉

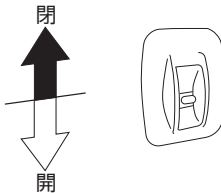
- ・スイッチを押している間、開きます。
- ・スイッチを引き上げている間、閉まります。



TSB0455Z

■後席スイッチでの開閉★

- ・スイッチを下側に押している間、開きます。
- ・スイッチを上側に押している間、閉まります。



ESG0688Z

■挟み込み防止機構

運転席の窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、窓枠と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。

- ・環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。



注意

- ・窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。



アドバイス

- ・故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、運転席窓ガラスを自動で閉めることができないときは、運転席・AUTOスイッチを上側に引き続けて閉めてください。

■パワーウィンドーのロックのしかた

- ・パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席★の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- ・スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置		作 動
ON		ロックされます。
OFF		ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

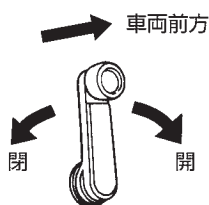
バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行くと、運転席窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。以下の操作を行い、初期設定をしてください。

※ドアを閉めて操作します。

- ①エンジンを始動します。
- ②運転席・AUTOスイッチを押し、窓ガラスを全開にします。(すでに全開しているときは、操作する必要はありません。)
- ③運転席・AUTOスイッチを引き上げ続けます。
 - ・窓ガラスが全閉してから約3秒後に手を離します。
- ④正常に作動することを確認します。
 - ・正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

手動式ウィンドー★

- ・各ドアにあるハンドルを回して開閉します。
- ・車両前方に回すと開き、車両後方に回すと閉まります。



TSC1444Z

燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

⚠ 警告

- ・燃料補給時は、以下のことを必ず守ってください。
 - * エンジンを止める。
 - * 車のドアや窓を閉める。
 - * タバコなどの火気を近づけない。
 - * 気化した燃料を吸わない。
- ・補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花でやけどしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- ・補給作業はひとりで行い、作業中に車内に戻らないでください。帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- ・キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口より吹き返すおそれがあります。
- ・給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- ・給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。
- ・ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

■燃料の補給

- ・燃料タンクの容量は、車種により異なります。

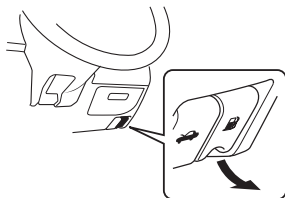
エンジン 型式	燃料タンク 容量	使用燃料
HR16DE	約42ℓ	無鉛レギュラー ガソリン
HR15DE	約52ℓ	

🚗 アドバイス

- ・指定以外の燃料は補給しないでください。

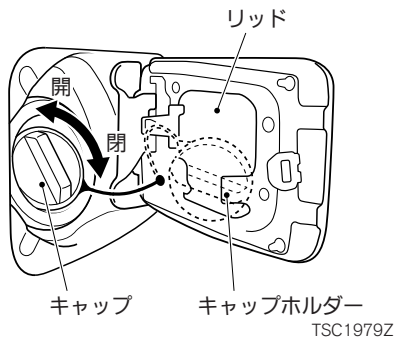
■開けかた

- ①運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



ESG0729Z

- ②キャップを左にゆっくり回して開けます。
- ・補給時、キャップはリッドの裏側に置きます。



■閉めかた

- ①キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
- ②リッドを押し付けてロックします。

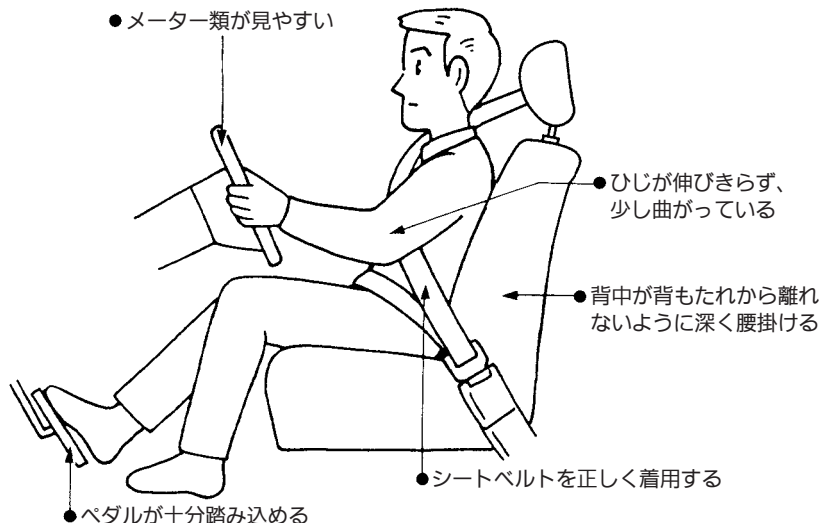
⚠ 警告

- ・キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- ・マツダ純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



TCD0008Z

警告

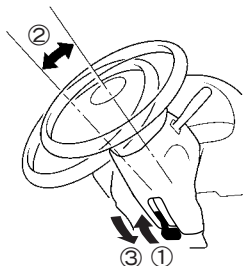
- ・ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- ・調節したあとは確実に固定されていることを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- ・調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- ・背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体に当たり思わぬケガをするおそれがあります。
- ・背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

- ①レバーを引き上げます。
- ②ハンドルを上下に動かし、適切な位置で止めます。
- ③レバーを押し下げ固定します。

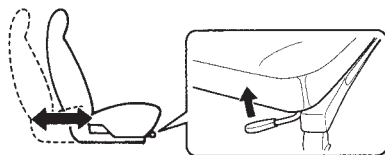


ECE0002Z

フロントシート

前後位置調節（スライド）

- ①レバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
- ②レバーから手を離したところで固定します。

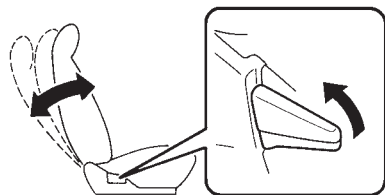


TCA0330Z

* 助手席シートのレバーは、クッションの右側にあります。

背もたれの角度調節（リクライニング）

- ①レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。
- ②レバーから手を離したところで固定します。

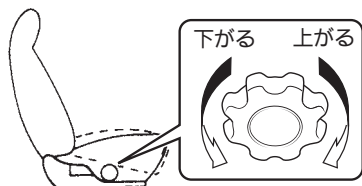


TCA0483Z

シートの上下調節(リフター)★

運転席クッションの高さを調節できます。

- ・ダイヤルを回して調節します。



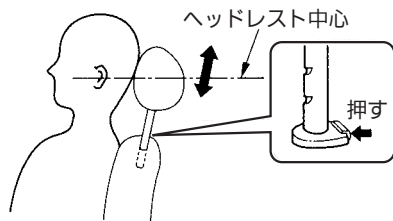
TCG0045Z

ヘッドレストの使いかた★

■上下調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- ・上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
- ・下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



TCE0051Z

■脱着のしかた

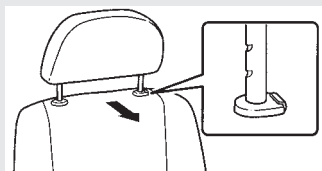
- ・取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- ・取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

⚠ 警告

- ・ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。



TCA0491Z

- ・取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

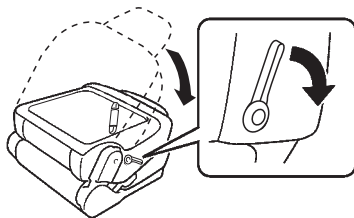
助手席シートバックパソコンテーブル（折畳式）★

■クローズモード

- ①リクライニングレバーを引いて背もたれを前に倒します。

●背もたれの角度調節…P.41

- ②シートベルトのバックルを前方に倒してから背もたれ横のレバーを前方に引き、背もたれを前に倒します。



ESG0689Z

知識

- ・インストルメントパネルに当たり、背もたれが折りたためないときは、シートの前後位置を調節してください。

- ③スライドレバーを引いて使いやすい位置に動かします。

●前後位置調節…P.41

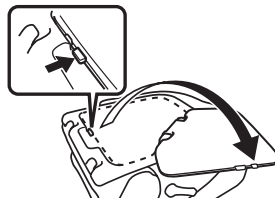
- *元に戻すときは、背もたれを起こしてロックさせてから背もたれの角度を調節します。

⚠ 注意

- ・背もたれを元に戻すときは、必ずシートバックパソコンテーブルを元に戻し、確実にロックしていることを確認してください。

■オープンモード

- ①左記のような手順でクローズモードにします。
②ロックノブを押し、シートバックパソコンテーブルを開きます。



ESG0707Z

- *元に戻すときは、シートバックパソコンテーブルを折りたたみ、“カチッ”と音がするまで上から押します。

⚠ 注意

- ・背もたれを前に倒すときは、シートとインストルメントパネルの間に手などを挟まないように注意してください。
- ・シートバックパソコンテーブルを使うときは、次のようなことに注意してください。シートが破損したり、背もたれが起き上がり思わぬケガにつながるおそれがあります。
 - *上に乗らない。
 - *寄りかからない。
 - *背もたれの後端に手をついたり足を掛けたりしない。

⚠ 注意

- ・シートバックパソコンテーブルは、走行中に使用しないでください。荷物や飲物を置いたまま走行すると、急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて思わぬ事故につながったり、熱い飲物がこぼれると、やけどをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

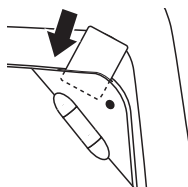
- ・折りたたんだまま最前方に移動するとヘッドレストがグローブボックスのふたにあたります。その状態で使用するとヘッドレストやグローブボックスのふたが変形するおそれがあります。
- ・オープンモードのときは、テーブルの上に10kg以上のものを載せないでください。破損するおそれがあります。

📖 知識

- ・背もたれ下端にショッピングフック(📍P.134)があります。

■カードホルダー

- 給油カードなど、厚さ約1mmのカードを1枚入れることができます。
- ・矢印の方向に奥まで確実に差し込んでください。



ESG0651Z

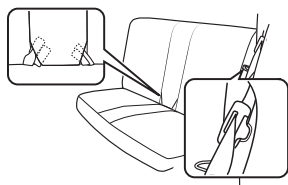
🚗 アドバイス

- ・厚さのないカードは入れないでください。落下するおそれがあります。
- ・厚いカードを無理に入れしないでください。破損するおそれがあります。

リヤシート

背もたれの倒しかた

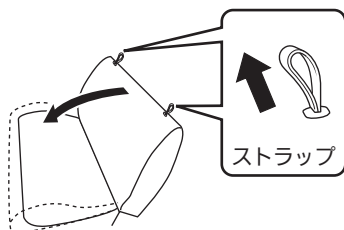
- ①リヤシートのシートベルトのタングとバックルを格納します。



ESG0690Z

*イラストは、ピロー無車です。

- ②背もたれの左右にあるストラップを引き上げながら、前方に倒します。



TCG0025Z

*イラストは、ピロー無車です。

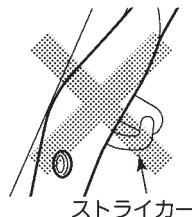
*元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。

⚠ 警告

- ・ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・フロントシートの背もたれに当たりシートが倒れないときは、フロントシートの位置を前方に調節してから操作してください。
- ・背もたれを起こすときは、タングを格納し、シートベルトがストライカーにかぶらないようにドア側にしてください。ロックにかみ込み傷がつくおそれがあります。



ストライカー

TCG0028Z

ピローの使いかた★

ピローは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。



注意

・ピローはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

- ・ピローの脱着は、フロントシートのヘッドレストと同じです。

 ヘッドレストの脱着のしかた…

P.42

ドアミラー



警告

- ・鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



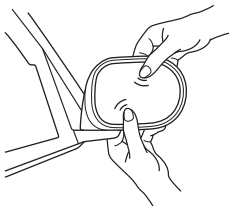
アドバイス

- ・ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

手動式ドアミラー★

■角度調節

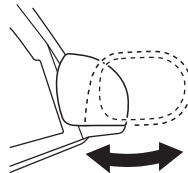
- ・ミラーの外枠を持ち、鏡面を上下・左右に動かして調節します。



ESC0137Z

■格納するとき

- ・ミラー本体の外端を後方に押すと倒れます。
- ・戻すときは前方に“カチッ”と音がするまで押し戻します。



ESC0136Z



注意

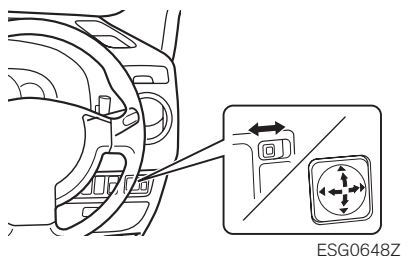
- ・格納するときは手を挟まないように注意してください。
- ・ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。

電動格納式ドアミラー★

キースイッチがAcc、またはONのとき操作できます。

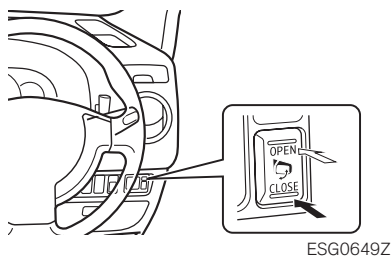
■角度調節

- ①左右切り替えスイッチを調節する側に動かします。
- ②角度調節スイッチを上下・左右に押し、後方が十分確認できる位置に調節します。



■格納するとき

- ・スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
- ・スイッチの上側を押すと、元に戻ります。



⚠ 注意

- ・ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障する原因になるおそれがあります。
- ・ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- ・手動で開閉すると走行中ミラーが前方、または後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に電動で開閉操作を行ってください。

🚗 アドバイス

- ・スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- ・手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、キースイッチをAcc、またはONにしたときにミラーが動き出すことがあります。
- ・スイッチの上側が押されたままでミラーを前方に倒したとき、キースイッチをAcc、またはONにするとミラーが更に前方に倒れます。元の状態に戻すときは一度格納操作をしてください。

📖 知識

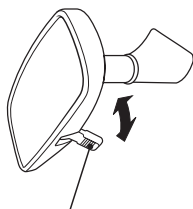
ヒーター付ドアミラー（寒冷地仕様車）

- ・キースイッチがONのときにリヤウインドーデフォグスイッチ（OP.87）を押すと、バックドアガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりを取ります。

ルームミラー

通常は防眩切り替えレバーを前方に押した状態で使います。

- ・ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に高さや角度を調節します。
- ・後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。



切り替えレバー

ESG0764Z

警告

- ・ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要となすのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ・ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。リモコンの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- ・ 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- ・ シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなったり、ベルトによりケガをしたりするおそれがあります。
- ・ 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。



TCD0009Z

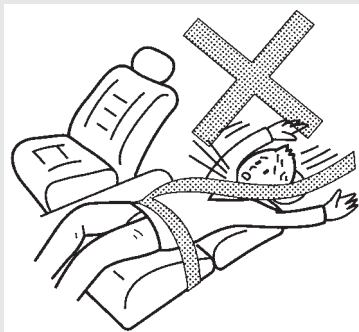


警告

- ・ 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・ シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
 - * 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - * ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
 - * ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - * 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
 - * 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
 - * シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

警告

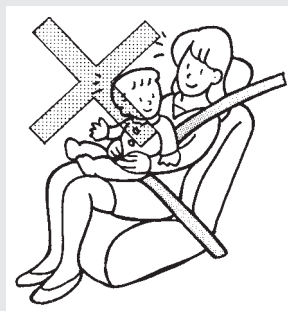
- ・ シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0041Z

- ・ バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・ 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- ・ お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱えていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0042Z

- ・ 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、マツダ販売店に点検を依頼してください。

**警告**

- ・ シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

**知識**

- ・ 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯 (P.70) や警告音 (P.80) が作動します。

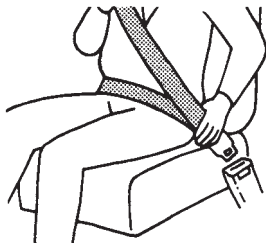
シートベルトの着用のしかた

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

フロントシート、リヤシート左右に付いています。

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

- ① タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
 - ・ ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。
- ② ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



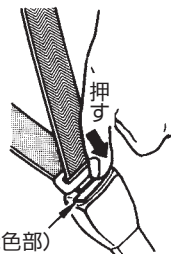
TCA0043Z

- ③ ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TCA0044Z

- ・ 外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



TCG0046Z

知識

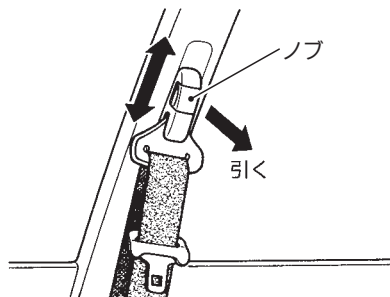
- ・ リヤシートのシートベルトは格納することができます。（P.45）

■肩ベルトのアンカー位置調節 (運転席) ★

肩ベルトのアンカー位置の高さを4段階に調節できます。

ベルトが肩にきちんと掛かる位置に調節します。

- ①ノブを引きながらアンカー部を上
下させ、ベルトが肩に確実に掛か
る位置に調節し手を離します。
- ②手を離れたあと、“カチッ”と音が
するまで動かし固定させます。



TCD0028Z

⚠ 警告

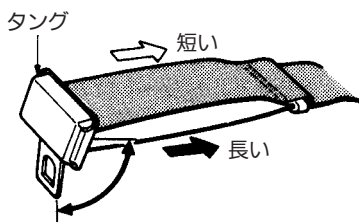
- ・肩ベルトは確実に肩に掛かるように、アンカー位置を調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、アンカーが固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

2点式シートベルト

リヤシート中央に付いています。

■長さ調節

- ・タングを立て、ベルトを必要な長さに調節します。
上側を引くとベルトが短くなり、
下側を引くと長くなります。



TCA0047Z

⚠ 警告

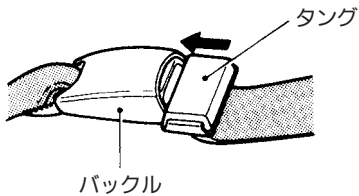
- ・ベルトが腰骨の部分に密着するように、ベルトの長さを調節してください。ベルトをたるませたり腹部に掛けると、万一のときシートベルトの効果が得られず、重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

- ・最初長めに調節し、タングをバックルに差し込んだあと、長さ調節をすると腰骨に密着させやすくなります。
- ・シートベルトは格納することができます。(P.45)

■着用のしかた

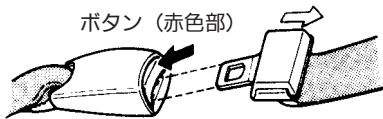
- ・ベルトのねじれがないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TCA0048Z

■外しかた

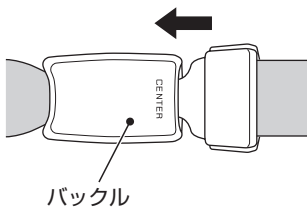
- ・バックルのボタンを押して外します。



TCA0049Z

知識

- ・中央席用のシートベルトは、バックルに「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

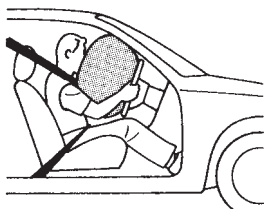


ZIC0663

フロントシート プリテンショナー& ロードリミッター機構付シートベルト

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

・運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。
 ○SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.61



TCA0050Z

警告

- ・使用方法是通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- ・キースイッチON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

警告

- ・プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しないでください。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動する、または正常に作動しなくなるおそれがあります。

注意

- ・廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

アドバイス

- ・プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- ・プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

チャイルドシート

この車はチャイルドシートを取り付けることができません。

チャイルドシート適合表

質量グループ	着席位置		
	前席（助手席）	後席左右	後席中央
0（10kgまで）	×	×	×
0 ⁺ （13kgまで）	×	×	×
I（9～18kg）	×	×	×
II（15～25kg）	×	×	×
III（22～36kg）	×	×	×

凡例

×：チャイルドシートを取り付けることはできません。

チャイルドシートの質量グループ

■質量グループについて

UN R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0 ⁺	13kgまで
グループI	9～18kgまで
グループII	15～25kgまで
グループIII	22～36kgまで

目次

警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装備の
いかた

つ車と
あの上
か手な

万の
とき

サー
ビス
デー
タ

さく
いん

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

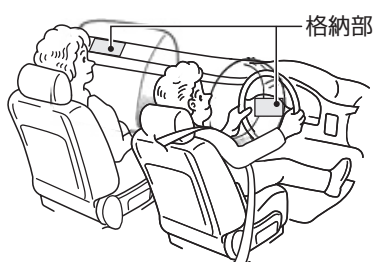
* SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

・ キースイッチがONのとき作動可能です。

■運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- ・ 運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
- ・ 助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。



ESG0449Z



警告

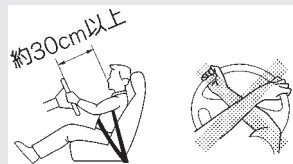
- ・ SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- ・ 乗車するときには必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - * ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、センターコンソールまわりなどのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、マツダ販売店にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せずマツダ販売店で交換してください。
 - * SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
 - * 電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
 - * エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、マツダ販売店にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

警告

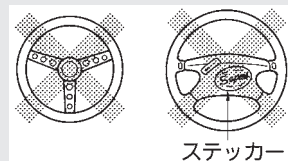
運転席SRSエアバッグシステム

・必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。

- * ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
- * 不適正なハンドルに交換しないでください。また、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
- * 前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。



TCG0030Z

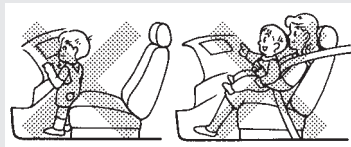


TCG0031Z

助手席SRSエアバッグシステム

・必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。

- * インstrumentパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、リヤシートに乗せてください。
- * Instrumentパネル上面にステッカーなどを貼らないでください。また、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。



TCG0032Z



ESG0699Z

 注意

- ・キースイッチをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- ・SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- ・SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ・SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることもあります。
- ・廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ずマツダ販売店にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

 アドバイス

- ・SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。

 知識

- ・助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- ・運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

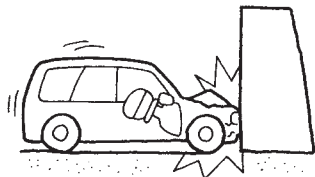
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収、または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。

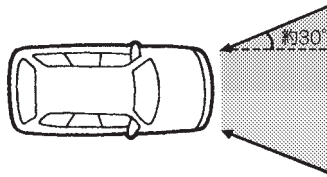
■作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- ・ 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- ・ 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき



TCA0258Z



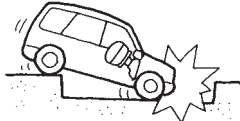
TCA0259Z

次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。
(車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき)

- ・ 高速で縁石などに衝突したとき
- ・ 深い穴や溝に落ち込んだとき
- ・ ジャンプして地面にぶつかったとき



TCA0260Z



TCA0261Z



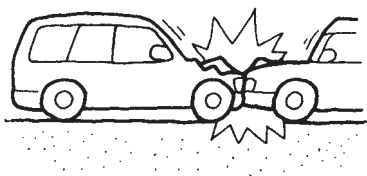
TCA0262Z

■作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- ・ 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- ・ 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき

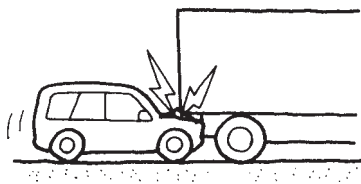


TCA0263Z

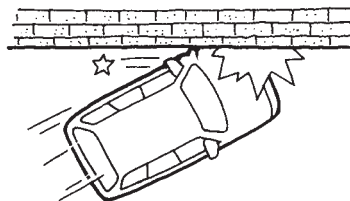


TCA0264Z

- ・ トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- ・ 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき



TCA0265Z



TCA0266Z

■作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- ・ 横方向や後ろから衝突されたとき
- ・ 横転、転覆したとき



TCA0267Z



TCA0268Z

走行するとき

3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた	64
メーター	64
表示灯	67
警告灯	70
警報装置	79
●スイッチの使いかた	81
ライトスイッチ	81
方向指示器スイッチ	83
非常点滅表示灯スイッチ	84
ヘッドランプレベリングスイッチ	84
ワイパー・ウオッシャースイッチ	85
リヤウインドーデフォグガススイッチ	87
ホーンスイッチ	87
●運転のしかた	88
キースイッチ	88
パーキングブレーキ	89
セレクトレバーの使いかた（4AT車）	90
セレクトレバーの使いかた（CVT車）	94
エンジンのかけかた	96
オートマチック車の運転のしかた	98
4WD（4輪駆動）車の扱いかた	103
DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）	104
LDW（車線逸脱警報）	107
エマージェンシーブレーキ	110
ABS	114

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車とのかかわり
の上手な
付き合い

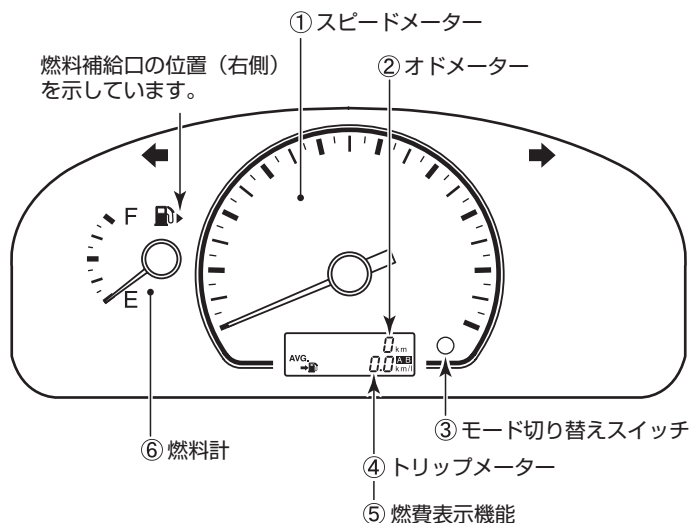
万が一のとき

サービスデータ

さくいん

メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター



ZPA1445



知識

・ キースイッチをOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

① スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

② オドメーター（積算距離計）

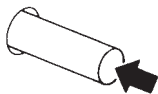
キースイッチがONのとき、総走行距離をkmで表示します。

000000 km

ZPA1435

③モード切り替えスイッチ

表示するモードを選択します。スイッチを押すごとに、次の順で各モードに切り替わります。



TCA0220Z



知識

- ・表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。

④トリップメーター（区間距離計）

キースイッチがONのとき、区間走行距離をkmで表示します。（右端の数字は100m単位です。）

- ・AとBで2種類の区間走行距離を測定することができます。
- ・リセットするときは、モード切り替えスイッチを約1秒以上押します。

00000.0 A km

ZPA1436

※イラストは、Aの表示です。



知識

- ・Aで出発してからの距離を測りながら、Bで給油してからの距離を測るというような使いかたができます。
- ・バッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

⑤燃費表示機能

モード切り替えスイッチを押して表示させます。

瞬間燃費

走行を開始してからの瞬間燃費を表示します。

00.0 km/l

ZPA1083

平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・リセットするときは、モード切り替えスイッチを約1秒以上押します。

AVG. 00.0 km/l

ZPA1084



知識

- ・バッテリーを外したときやリセット後は「---」と表示します。
- ・数値は約30秒ごとに更新します。

航続可能距離

現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。

- ・ 航続可能距離が少なくなったとき（燃料残量警告灯が点灯したとき）は、表示が点滅します。
- ・ 燃料残量警告灯表示後も燃料を補給しないと自動的に航続可能距離に切り替わり、「----」という表示が点滅します。（モードを切り替えても「航続可能距離」の点滅表示は続きます。）

 0000 km

ZPA1085

知識

- ・ 数値は約30秒ごとに更新します。

⑥燃料計

キースイッチがONのとき、燃料の残量を表示します。

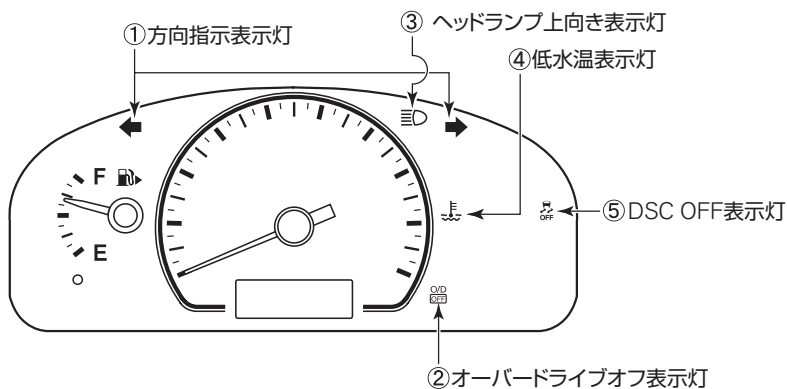
- ・ 燃料タンクの容量は、車種により異なります。

エンジン型式	容量
HR16DE	約42 ℓ
HR15DE	約52 ℓ

知識

- ・ 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- ・ キースイッチがON状態で給油を行うと、指針の動きが遅くなることがありますが故障ではありません。

表示灯



ZPA1449

① 方向指示表示灯



TCA0087Z

方向指示器、または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

・ 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。

●電球（バルブ）を交換するときは…P.183

●方向指示器スイッチ…P.83

●非常点滅表示灯スイッチ…P.84

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使用がた車と
あの手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

②オーバードライブオフ表示灯



TCA0088Z

キースイッチがONのとき、オーバードライブをOFFにすると点灯します。

知識

- ・キースイッチをONにすると、約2秒間点灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

オーバードライブスイッチの使いかた…P.92、95

③ヘッドランプ上向き表示灯



TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.83

④低水温表示灯（緑色表示）



ESC0041Z

キースイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度が低いと点灯します。

アドバイス

- ・十分に暖機をしたあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

知識

- ・キースイッチをONにすると、約2秒間点灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

赤色のマークの方が点灯したときは、P.76をお読みください。

⑤DSC OFF表示灯★



ZPA0492

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- ・ DSC OFFスイッチを押すと点灯します。

🔍DSC…P.104



知識

- ・ キースイッチをONにすると、数秒間点灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装備
の
たつ車と
あの上
い手な

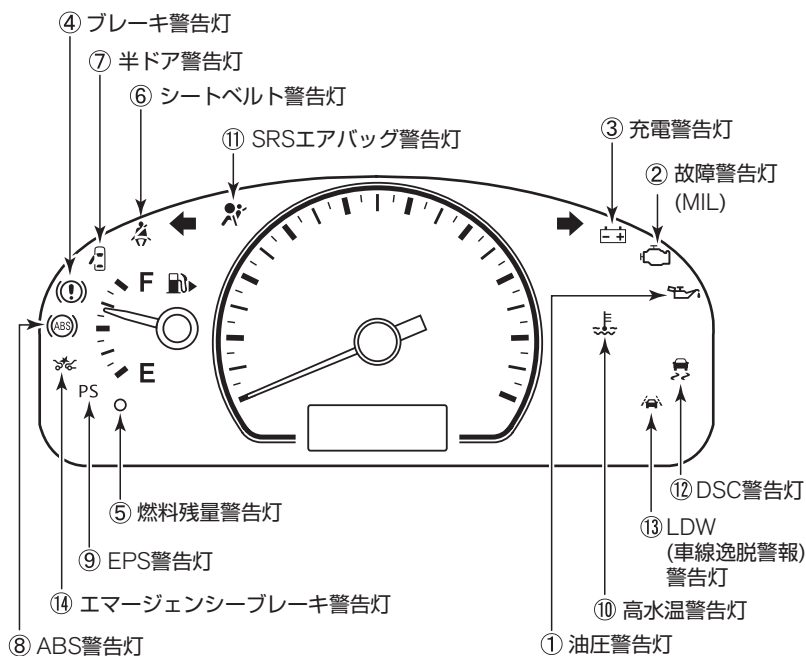
万のとき

サービス
データ

さくいん

警告灯

警告灯が点灯、または点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



①油圧警告灯



TCA0097Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- ・エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、マツダ販売店に連絡してください。

⚠ 注意

- ・点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

②故障警告灯 (MIL)



TCA0098Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- ・エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。

➡ 対処方法

- ・点灯、または点滅したときは、ただちにマツダ販売店に連絡してください。

③充電警告灯



TCA0099Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- ・エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、マツダ販売店に連絡してください。

⚠ 注意

- ・点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

④ブレーキ警告灯



TCE0049Z

正常なときは、キースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。(パーキングブレーキをかけているときは消灯しません。)

- ・キースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。

＊パーキングブレーキをかけているとき。

➡ 対処方法

- ・走行中はパーキングブレーキを解除してください。

 注意

- ・パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れワーニング (○P.80) が鳴ります。

＊ブレーキ液が不足しているとき。

➡ 対処方法

- ・パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、マツダ販売店に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

＊ブレーキシステムに異常があるとき。

➡ 対処方法

- ・エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

 警告

- ・パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑤燃料残量警告灯



燃料残量警告灯

ZPA1098

キースイッチがONのとき、燃料の残量が少なくなると点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。



知識

- ・燃料の残量が約7ℓ以下で点灯します。なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量より若干少なくなります。
- ・車両姿勢、走行状況などによっては燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。

⑥シートベルト警告灯



TSA0864Z

キースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときはシートベルトを着用してください。



警告

- ・走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。



知識

- ・点灯したまま走行すると、シートベルト非着用時警告音（OP.80）が鳴ります。

⑦半ドア警告灯



ECD0005Z

キースイッチがONのとき、全ドアが確実に閉まっていないと点灯します。

➡ 対処方法

- ・ ドアを確実に閉めてください。



注意

- ・ 走行前に消灯していることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑧ABS警告灯



TSA1106Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- ・ キースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- ・ キースイッチをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- ・ 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。



知識

- ・ キースイッチを一気に回してエンジンを始動すると、警告灯が点灯し続けることがあります。この場合は、一度エンジンを止め、キースイッチをゆっくり回して始動し直してください。

🔍 ABS…P.114

⑨EPS（電動パワーステアリング） 警告灯

PS

TSA2076Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- ・エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- ・停車中、または極低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけた状態を長く続けると、電動パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。
そのためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。
しばらくハンドル操作を控えると、電動パワーステアリングシステムの温度が下がり、通常のハンドル操作力に戻ります。
- ・電動パワーステアリングシステムが過熱するようなハンドル操作を繰り返すと、電動パワーステアリングシステムが故障する原因となります。

📖 知識

- ・点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドル操作力が重くなります。
- ・すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがありますが、異常ではありません。

⑩高水温警告灯（赤色表示）



ESC0041Z

キースイッチをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。

- ・エンジン回転中、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して処置してください。
- オーバーヒートしたときは…P.180

**警告**

- ・そのまま走行を続けると、エンジンが故障する原因となり、火災につながるおそれがあります。

⑪SRSエアバッグ警告灯



TCA0335Z

キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

- ・キースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。

➡ 対処方法

- ・キースイッチをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

**警告**

- ・キースイッチONで点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

●SRSエアバッグ…P.58

●フロントシート プリテンショナー&ロードリミッター機構付シートベルト…P.56

⑫DSC警告灯★



ESH0408Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- ・DSC作動中に点滅します。
- ・キースイッチがONのときDSCのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

🚗 アドバイス

- ・点灯したときはDSCの作動は停止しますが、DSCのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

🔍DSC…P.104

⑬LDW（車線逸脱警報）警告灯★



ZPA0359

キースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

- ・右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。
- ・LDW（車線逸脱警報）に異常があると、点灯します。

🔍LDW（車線逸脱警報）…P.107

➡ 対処方法

- ・点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。

⑭エマージェンシーブレーキ警告灯★



ZPA1357

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- ・ 次の場合に点灯します。
 - * エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにしているとき
 - * DSCをOFFにしているとき
 - * エマージェンシーブレーキのシステムに異常が発生しているとき
- ・ 次の場合に点滅します。
 - * フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - * 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - * 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します）

➡ 対処方法

- ・ 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ・ フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。

警報装置

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

- ・金属音が発生したときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。



注意

- ・金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ライト消し忘れワーニング

ライトを点灯したまま、キースイッチをAcc、(OFF)、またはLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。



知識

- ・ブザーの鳴る間隔は、キー抜き忘れワーニングと異なります。

○ライトスイッチ…P81

■キー抜き忘れワーニング

エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。



知識

- ・ブザーの鳴る間隔は、ライト消し忘れワーニングと異なります。
- ・キースイッチがONのときは鳴りません。

■リバースブザー

キースイッチがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。



知識

- ・ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ ワーニング

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。



警告

- ・パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🔊パーキングブレーキ…P.89

■シートベルト非着用時警告音

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。



警告

- ・走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。



知識

- ・走行前にメーター内のシートベルト警告灯（🔴P.73）が消灯していることを確認してください。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

- ・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

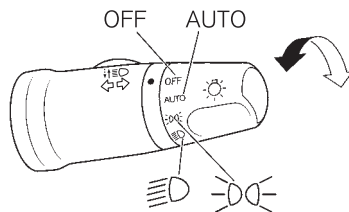
- ・ライトを点灯したままエンジンを止めて運転席ドアを開けると、ライト消し忘れワーニング（P.79）が鳴ります。

バッテリーセーバー

- ・ライトを点灯したままエンジンを止め、リモコンで施錠するとバッテリーあがり防止のためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）
- ・ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
 ●ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.25

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ZPA1432

*イラストは、オートライトシステム付車です。

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯 番号灯 メーター照明
OFF	消 灯	消 灯
AUTO★	自動点灯・消灯	
☀️ TCA0106Z	消 灯	点 灯
☾️ ECD0021Z	点 灯	点 灯

●オートライトシステムの使いかた…P.82

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車とあ
いかな
いかな

万のとき

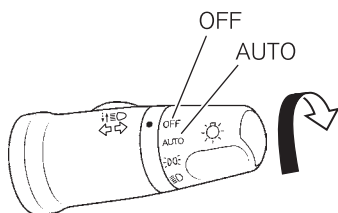
サービスデータ

さくいん

オートライトシステムの使いかた★

キースイッチがONのとき、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯します。

- ・スイッチを回し、●の位置にマーク(AUTO)を合わせると、次のように点灯・消灯します。



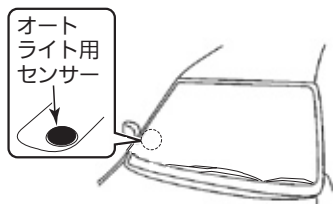
ZPA1433

車外の明るさ	ヘッドランプ (前照灯)	車幅灯・尾灯 番号灯 メーター照明
明るいとき	消 灯	消 灯
薄暗いとき	消 灯	点 灯
暗いとき	点 灯	点 灯

- ・次のような場合は消灯します。
 - * キースイッチをAccにして運転席ドアを開けたとき。
 - * キースイッチをLOCKにしたとき。

🚗 アドバイス

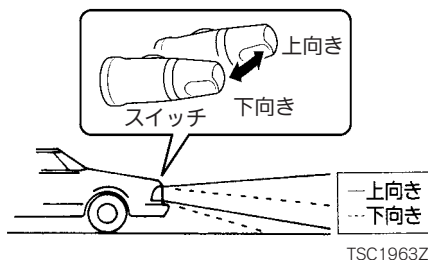
- ・キースイッチがONでスイッチがAUTO位置にある場合、車外が暗くなるとライトが点灯します。その後キースイッチをAccにしても点灯し続けます。エンジン停止時に長時間点灯させると、バッテリーが上がりエンジンの始動ができなくなります。
- ・センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



TSG0030Z

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ・ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押すと上向き（ハイビーム）になります。
（メーター内の表示灯が点灯）
- ・スイッチを手前に引くと下向き（ロービーム）になります。
- ・ライトスイッチの位置に関係なく、ヘッドランプの下向き位置より更にスイッチを手前に引いている間、ヘッドランプの上向きが点灯します。
（メーター内の表示灯が点灯）



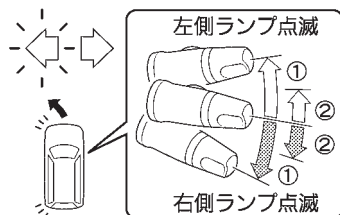
アドバイス

- ・対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

🔍ヘッドランプ上向き表示灯…P.68

方向指示器スイッチ

- ・キースイッチがONのとき使えます。
- ・スイッチを①の位置まで上、または下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
（メーター内の表示灯が点滅）
- ・車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上、または下に軽く押さえます。
スイッチを押している間、点滅し、手を離すと消灯します。



ESA1281Z

アドバイス

- ・方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

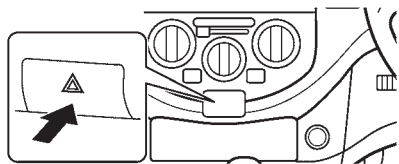
🔍電球（バルブ）を交換するときは…P.183

🔍方向指示表示灯…P.67

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- ・スイッチを押し込むと、全ての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯が点滅します。
- ・止めるときは、スイッチを押し戻します。



ESG0654Z

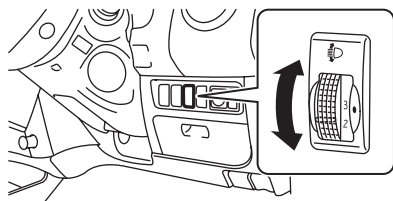
🚗 アドバイス

- ・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ヘッドランプレベリングスイッチ

ヘッドランプが下向き点灯時に、照らす向きを調整します。

- ・通常、スイッチは0の位置にします。
- ・スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



ZPA1444

スイッチ位置の目安

乗 員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置	
		※1	※2
運転席のみ	積載なし	0	0
運転席のみ	満 載	1	3

※1：HR15DEエンジン搭載車

※2：HR16DEエンジン搭載車

🚗 アドバイス

- ・乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調整してください。

ワイパー・ウォッシャー スイッチ

キースイッチがONのとき使えます。

■ワイパーの使いかた

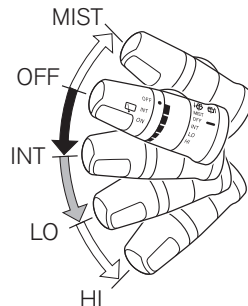
🚗 アドバイス

- ・雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ・ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで(約1分程度)待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- ・凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ・ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード(ゴム部)を傷つけるおそれがあります。

フロントワイパー

- ・スイッチを下げる(MISTは上げる)と、次のようにワイパーが作動します。
- ・止めるときはOFFの位置に戻します。

スイッチ位置	作 動
MIST	1 回 作 動
OFF	停 止
INT	間 け つ 作 動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

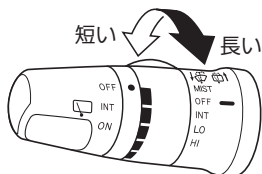


ESB0495Z

📖 知識

- ・MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。

- ・間けつ作動の間隔を調節するとき、スイッチを回します。



ESB0496Z

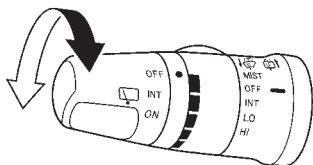
**知識**

- ・間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。

リヤワイパー★

- ・スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると次のように作動します。

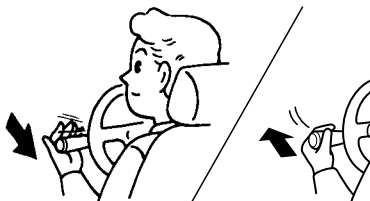
スイッチ位置	作 動
OFF	停 止
INT	間けつ作動
ON	連 続 作 動



ESB0497Z

■ウォッシャーの使いかた

- ・フロント側はスイッチを手前に引くと、リヤ側は車両前方に軽く押すとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



ECF0054Z

**警告**

- ・寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。

Ⓜウォッシャー液の濃度点検…P.142

**アドバイス**

- ・ウォッシャー液が出ないときは、そのまま30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ・ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、マツダ販売店にご相談ください。

リヤウインドーデフォグスイッチ

キースイッチがONのとき使えます。

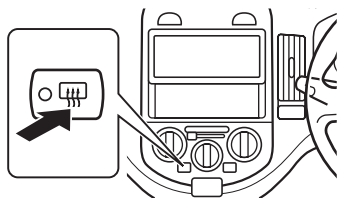
バックドアガラス内側のくもりを取るときに使います。

- ・スイッチを押すと約15分間作動します。

(スイッチの表示灯が点灯)

- ・作動を止めるときは、スイッチをもう一度押します。

(スイッチの表示灯が消灯)



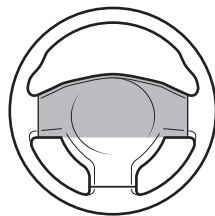
ESG0981Z

🚗 アドバイス

- ・連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
- ・ヒーター付ドアミラー (OP.48) 付車は、リヤウインドーデフォグスイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

ホーンスイッチ

- ・ハンドルのラップマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



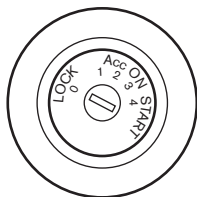
ESG0913Z

📖 知識

- ・パッド面の上部の方が中央部よりも比較的軽い操作で鳴ります。

運転のしかた

キースイッチ



ECG0036Z

■各キースイッチ位置と働き

キースイッチ位置	働 き
LOCK (0)	キーを抜き差しできる位置 (ハンドルがロックされる位置)
(OFF) (1)	電源が切れる位置
Acc (2)	エンジン停止時オーディオなどが使える位置
ON (3)	エンジン回転中の位置
START (4)	エンジンを始動する位置 手を離せば自動的にON位置に戻ります。

🚗 アドバイス

- ・エンジンを止めたままオーディオなどを長時間つけておいたり、キースイッチをAcc、またはONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーが上がり、エンジンの始動ができなくなります。

■キーの使いかた

- ・キーをキースイッチに差し込み回します。
- ・キーを抜くときは、セレクトレバーをPにしてからLOCKまで回します。

🚗 アドバイス

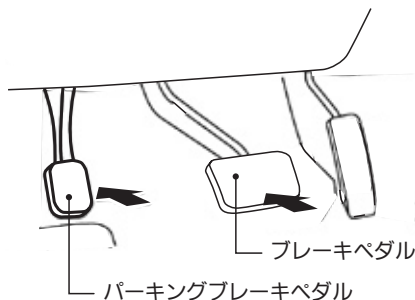
- ・キーが回りにくいときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。
- ・セレクトレバーをPに入れないでキーを回すと(1)の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーをPにしたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。

📖 知識

- ・エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れワーニング(ⓘP.79)が鳴ります。

パーキングブレーキ

- ・パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



ESG0731Z

- ・解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

⚠ 警告

- ・パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- ・パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

📖 知識

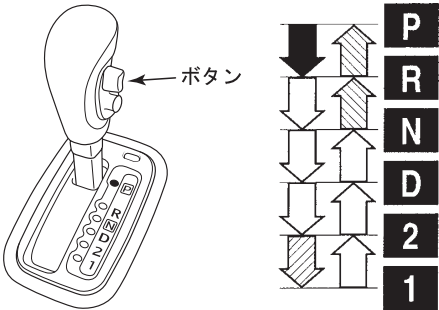
- ・パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
- ・パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れワーニング（ⓘP.80）が鳴ります。

セレクトレバーの使いかた（4AT車）

■各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働 き
P パーキング	駐車及びエンジンを始動するときの位置 キースイッチからキーを抜くことができます。 (キーは P でしか抜けません。)
R リバース	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 (車外の人に注意するものではありません。)
N ニュートラル	動力が伝わらない状態の位置 (N でもエンジンの始動ができますが、安全のため P で始動してください。)
D ドライブ	通常走行するときの位置 速度に応じてギヤが1速、2速、3速、4速に自動変速します。 通常はオーバードライブをONにしておきます。(ⓘ P.92)
2 セカンド	主に坂道走行するときの位置 エンジンブレーキが必要なときに使います。 速度に応じてギヤが1速、2速に自動変速します。
1 ファースト (ロー)	主に坂道走行するときの位置 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 1速に固定します。

■セレクトレバーの操作



レバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	ボタンを押して操作します。

ZPA1431

※車両により形状が異なります。

⚠ 警告

- ・ 次のような操作は、トランスアクスルを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - * 車が完全に停止する前に**P**に入れる。
 - * 車を前進させているときに**R**に入れる。
 - * 車を後退させているときに**D**、**2**、**1**に入れる。

🚗 アドバイス

- ・ 印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して**P**、**R**、**1**に入れてしまうおそれがあります。
- ・ **P**から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■各セレクトレバー位置の限界速度

セレクトレバーを操作するときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

（単位：km/h）

セレクトレバー位置	
2	1
100	55

⚠ 注意

- ・ 限界速度を越えると、エンジンを破損するおそれがあります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装備の
かたつ車と
あの上
か手な万一の
ときサービ
スデー
タさくい
ん

■オーバードライブスイッチの
使いかた

セレクトレバーが**Ⅱ**のとき使えます。

- ・通常走行するときはスイッチを押してメーター内の表示灯を消灯させます。

（オーバードライブON状態）

- ・坂道走行で次のような場合はスイッチを押してメーター内の表示灯を点灯させます。

（オーバードライブOFF状態）

- * 下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいとき。
- * 上り坂で4速と3速の変速回数が少ない、なめらかな走行をしたいとき。



ZPA1430

※車種により形状が異なります。

オーバードライブ	メーター内表示灯	働 き
ON	（消灯）	1速から4速（オーバードライブ）まで自動変速します。
OFF	O/D OFF （点灯）	1速から3速まで自動変速します。

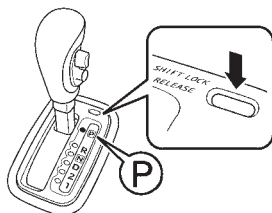
知識

- ・ エンジンを再始動すると自動的にオーバードライブがONになります。
- ・ トランスアクスルの油温が低いときは、オーバードライブ（4速）に変速しないことがあります。
- ・ オーバードライブ（4速）は静粛性、燃費性能が良くなります。

■シフトロック解除ボタンの使 いかた

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときに使います。

- ①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
- ②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



TSD0168Z

🚗 アドバイス

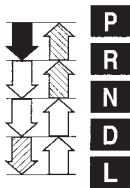
- ・ 解除ボタンを押すときは、先の細い物で押してください。
- ・ セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（OP.22）などの故障が考えられます。すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

セレクトレバーの使いかた（CVT車）

■各セレクトレバー位置と働き

セレクトレバー位置	働 き
P パーキング	駐車及びエンジンを始動するときの位置 キースイッチからキーを抜くことができます。 （キーは P でしか抜けません。）
R リバース	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 （車外の人に注意するものではありません。）
N ニュートラル	動力が伝わらない状態の位置 （ N でもエンジンの始動ができますが、安全のため P で始動してください。）
D ドライブ	通常走行するときの位置 速度に応じて無段階に自動変速します。 通常はオーバードライブをONにしておきます。（ Q P.95）
L ロー	急な下り坂を走行するときの位置 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 （急な下り坂以外ではなるべく使わないでください。）

■セレクトレバーの操作



レバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	ボタンを押して操作します。

⚠ 警告

- ・ 次のような操作は、トランスアクスルを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - * 車が完全に停止する前に**P**に入れる。
 - * 車を前進させているときに**R**に入れる。
 - * 車を後退させているときに**D**、**L**に入れる。

🚗 アドバイス

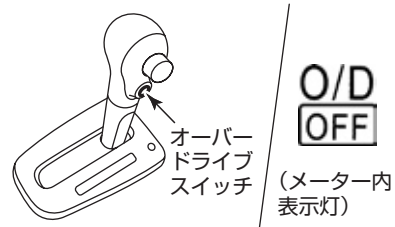
- ・ 印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して**P**、**R**、**L**に入れてしまうおそれがあります。
- ・ **P**から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■ オーバードライブスイッチの使いかた

セレクトレバーが**D**のとき使えます。

- ・ 通常走行するときはスイッチを押してメーター内の表示灯を消灯させます。
（オーバードライブON状態）

- ・ 登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジnbrakeをかけたいときはスイッチを押してメーター内の表示灯を点灯させます。
（オーバードライブOFF状態）



ZPA1438

オーバードライブ	メーター内表示灯	働 き
ON	(消灯)	燃費性能など、経済性を重視した走行ができます。
OFF	O/D OFF (点灯)	登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジnbrakeをかけることができます。

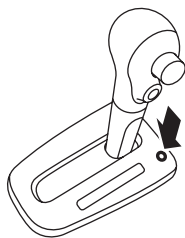
📖 知識

- ・ セレクトレバーを**D**以外にすると自動的にオーバードライブON状態になります。
- ・ オーバードライブOFF状態ではエンジンが高出力を発生する回転域を使用したギヤ比が自動的に選択されます。

■シフトロック解除ボタンの使いかた

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーを**P**から動かせないときに使います。

- ①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
- ②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



ZPA1439

アドバイス

- ・セレクトレバーを**P**から動かせないときは、シフトロックシステム（**OP.22**）などの故障が考えられます。すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

エンジンのかけかた

警告

- ・換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ・ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

注意

- ・エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

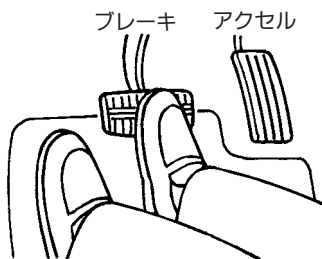
アドバイス

- ・エンジンをかけるとき、キースイッチをSTARTの位置で10秒以上保持しないでください。バッテリーあがりやスターターが故障する原因になります。
- ・エンジンがかからないときは、キースイッチをAcc、または（OFF）に戻し、10秒以上待ってから再始動してください。
- ・始動直後はエンジンが暖まっていませんので、無用の空吹かしや高回転運転はしないでください。エンジンのためによくありません。また、エンジンが暖機されたあとでも無用の空吹かしはしないでください。

知識

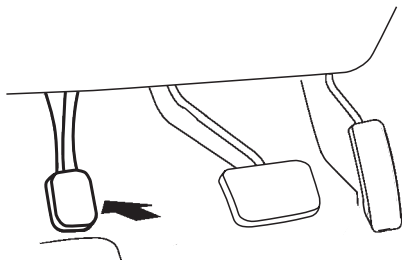
- ・ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが無異常ではありません。

- ①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。
- ・正しい運転姿勢（P.40）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



TCA0579Z

- ②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。



ECF0020Z

- ③セレクトレバーがPにあることを確認します。
- ・セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

- ④ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ⑤アクセルペダルを踏まずに、キースイッチをSTARTまで回し、エンジンを始動します。
- ・エンジンがかかったら、キースイッチから手を離します。
- ⑥しばらく暖機運転します。暖機中はエンジン回転数が上がっていますが、暖機が終わると自動的に下がります。

エンジンがかかりにくいときは

ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでキースイッチをSTARTの位置まで約5秒間回し続けてください。そのあと、再度①～⑤の操作をしてください。

知識

エンジンが暖まっているときの始動

- ・高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて徐々に戻します。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になります。オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

■発進のしかた

通常の発進

- ①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
 - ・前進するときは**D**、(または4AT車は**2**、**1**、CVT車は**L**)に入れます。
 - ・後退するときは**R**に入れます。
 - ・セレクトレバー位置を、目で確認してください。



警告

- ・発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。



注意

- ・セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

- ②パーキングブレーキを解除します。
- ③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

- ①セレクトレバーの位置を、目で確認します。
- ②パーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
- ③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
- ④パーキングブレーキを解除し、発進します。

■走行のしかた

⚠ 注意

- ・走行中はセレクトレバーを**■**にしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。

CVT車

- ・次のような場合は、CVT保護のためにエンジン出力を制御することがあります。
 - * エンジン回転数が急激に上がったとき。
 - * 滑りやすい路面を走行したとき。
 - * 動力測定器で動力測定したとき。

通常の走行

- ・セレクトレバーを**■**に入れたまま走行します。
- ・アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。

⚠ 警告

- ・高速走行中は4AT車は**2**、または**1**に、CVT車は**■**に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかりタイヤがスリップしたり、エンジンが過回転となり、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
 - 各セレクトレバー位置の限界速度…P.91

急加速したいとき

- ・アクセルペダルをいっばいに踏み込みます。キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- ・速度が下がってきたら、セレクトレバーは**■**のままでアクセルペダルを踏み込みます。坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- ・アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。

4AT車

- ・自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じて、オーバードライブをOFFにするか、セレクトレバーを**2**に入れると、変速回数が少ない、なめらかな走行ができます。
 - オーバードライブスイッチの使いかた…P.92

CVT車

- ・坂の勾配に応じてオーバードライブスイッチ（○P.95）をON（オーバードライブOFF状態）にするとスポーティな走行ができます。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

4AT車

- ・ 坂の勾配に応じて、セレクトレバーを**2**、または**1**に入れます。
強いエンジンブレーキが必要な、急な下り坂ではセレクトレバーを**1**に入れます。
- ・ 勾配のゆるい下り坂では、オーバードライブをOFFにすると、軽いエンジンブレーキが得られます。
 オーバードライブスイッチの使いかた…P.92

CVT車

- ・ セレクトレバーが**2**でも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが働きます。
- ・ 強いエンジンブレーキが必要な勾配のきつい下り坂では**1**に入れます。
- ・ オーバードライブスイッチ ( P.95) をON（オーバードライブOFF状態）にしても軽いエンジンブレーキが働きます。

警告

- ・ セレクトレバーを**2**にしたまま下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎる場合があります。このようなときは、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効が悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- ・ 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

注意

- ・ 高速走行中は4AT車は**2**、**1**に、CVT車は**1**に入れないでください。エンジンが過回転となり、エンジンを破損するおそれがあります。
 各セレクトレバー位置の限界速度…P.91

■停車のしかた

- ・セレクトレバーは**D**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ・停車時間が長くなるときは、セレクトレバーを**N**に入れます。

⚠ 警告

- ・停車中の空吹きはしないでください。万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

⚠ 注意

- ・エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリーブ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- ・上り坂ではクリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスアクスルが故障する原因となります。

■駐車のしかた

- ①車を完全に停止させます。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
- ③セレクトレバーを**P**に入れ、目で確認します。
 - ・セレクトレバーを**P**に入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
- ④エンジンを止めます。

⚠ 注意

- ・車から離れるときは、必ずセレクトレバーを**P**に入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること



警告

- ・坂道などでセレクトレバーを**D**（または4AT車は**2**、**1**、CVT車は**L**）に入れたまま惰性での後退をしたり、**R**に入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなったりブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

- ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

- ・後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違ふおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
- ・少し後退したときなどは、セレクトレバーを**R**に入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを**N**に戻す習慣をつけてください。

4WD（4輪駆動）車の扱いかた

■4WD車について

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。



知識

- ・この車は常時4輪駆動です。切り替え操作は必要ありません。

■走行するときは

- ・オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。
- 走行するときは以下のことを必ずお守りください。
- * 渡河などの水中走行はしないでください。
- * 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- * 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。



TCA0426Z

- ・運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル、ブレーキなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

■タイトコーナーブレーキング現象

乾燥した舗装路を4WD状態で走行中、ハンドルをいっぱいにかけて旋回すると、ブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。

この現象は旋回するとき前・後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

🚗 アドバイス

- ・タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。



知識

- ・砂地などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと、駆動系部品の油温が上昇します。この場合、駆動系部品の保護のため、一時的に4WDから2WD（前輪駆動）に切り替わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。
- ・4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) ★

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。

DSCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- ・ DSCが実際に作動しているとき、メーター内のDSC警告灯が点滅します。
- ・ DSCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもDSC警告灯が点滅します。
- ・ DSC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

●DSC警告灯…P.77

⚠ 注意

- ・ この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。DSCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- ・ 下記部品を純正品以外に交換、または改造したときにDSC警告灯が点灯することがあります。
その場合は、DSCが正常に作動しないことがあります。
- ・ *サスペンション関係部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など）
- ・ *タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）
- ・ *ブレーキ関係部品（パッド、ローター、キャリパー、シュー、ドラム、ドラムユニットなど）
- ・ *エンジン関係部品（マフラー、ECM〔エンジンコントロールモジュール〕など）
- ・ *車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）
- ・ サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、DSC警告灯が点灯することがあります。その場合は、DSCが正常に作動しないことがあります。
- ・ 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、DSC警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。

⚠ 注意

- ・ 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとDSC警告灯が点灯することがあります。その場合は、DSCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- ・ DSC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

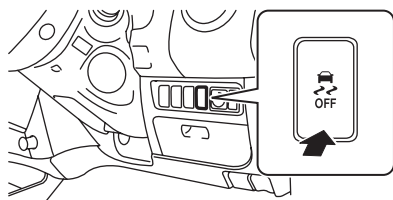
📖 知識

- ・ DSCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■DSC OFFスイッチの使いかた

DSCの作動を停止したいときに使います。

- ・ DSC OFFスイッチを押すと、DSCの働きを停止します。
（メーター内の表示灯が点灯）
- ・ もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとDSCは作動を回復し、表示灯が消灯します。



ZPA1440

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内装備の
使いかた

つ車との
きあの上
いかな
手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

 アドバイス

- ・ DSCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ・ ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはDSC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- ・ DSC OFFスイッチを押すと、ABS機能及びブレーキLSD機能を除くDSCのすべての機能（トラクションコントロールを含む）と、次の機能が停止します。
* エマージェンシーブレーキ (P.110)

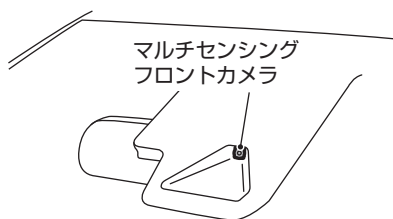
 知識

- ・ キースイッチをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

LDW（車線逸脱警報）★

運転者が意図せず走行車線から逸脱しようとなき、警報によって注意を促します。

- ・ LDW（車線逸脱警報）は車速約60km/h以上で作動します。
- ・ フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知し、右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると運転者に警報します。（警報音が鳴り、メーター内のLDW（車線逸脱警報）警告灯が点滅します。）レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



ZPA1441



ZPA1145

警告

- ・ LDW（車線逸脱警報）は、協見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

知識

- ・ 次の場合は警報を行いません。
 - * 方向指示器を使用しているとき（方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません）
 - * 車速が約60km/hを下回っているとき

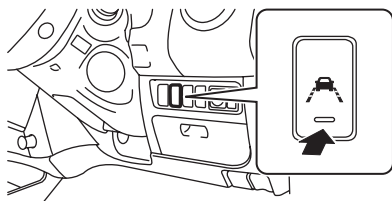
⚠ 注意

- ・ 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - * 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき。
 - * 急なカーブのある道路を走行するとき。
 - * 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき。
 - * 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき。（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
 - * 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき。
 - * 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき。
 - * 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき。
 - * 雨、雪、氷、結露、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき。
 - * 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき。
 - * 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき。
 - * 急な明るさの変化が起こったとき。（トンネルの出入り口など。）
- ・ 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

■ON／OFFのしかた

- ・ LDW（車線逸脱警報）スイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA1442

📖 知識

- ・ ON／OFF状態は、エンジンを再始動しても維持されます。

■警告表示

- LDW（車線逸脱警報）に異常があると、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。



ZPA0359

➡ 対処方法

- 点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。

●LDW（車線逸脱警報）警告灯…P.77

- 次の場合、LDW（車線逸脱警報）スイッチの表示灯が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - * フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - * 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動が復帰します。）

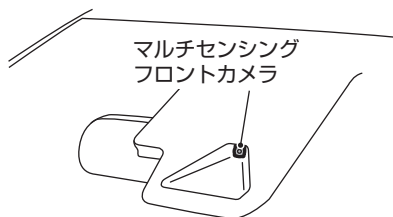


ZPA1144

■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

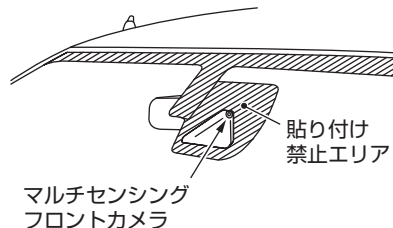
システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響がでるおそれがあります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、マツダ販売店にご相談ください。



ZPA1441

- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。

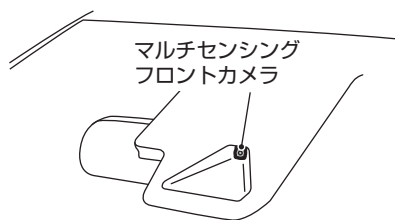


ZCE0722

エマージェンシーブレーキ★

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

- ・エマージェンシーブレーキは車速約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- ・フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。



ZPA1441



警告

- ・エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので機能を過信せず、運転者は周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を維持し、常に安全運転を心がけて走行してください。

■作動について

- ・システムが衝突するおそれがあると判断すると、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、警報音とともに、軽いブレーキで衝突回避操作を促します。
- ・運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、警報音とともに、衝突の直前に自動的にブレーキが作動します。



ZPA1357



知識

- ・次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ・アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ・ハンドルを大きく、または素早くきったとき
 - ・前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- ・システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- ・運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- ・システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

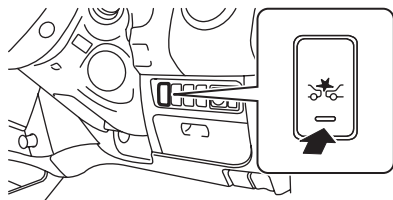
⚠ 注意

- ・ 次のような障害物は検知しません。
 - * 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - * 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - * 対向車両
 - * 前方を横切って通過する車両
 - * 斜めに止まっている車両
- ・ 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - * 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪等）で視界が悪いとき
 - * 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - * カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - * カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - * カメラ前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - * 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - * 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - * 夜間やトンネル内などで前方の車両の両側のテールランプが点灯していないとき
 - * トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - * カーブを走行しているとき
 - * 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - * 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - * 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - * 前方車両が背景と似た色合いで背景に溶け込んでいる、路面標示（横断歩道、文字標示）と重なっている場合など、前方車両の輪郭が認識できないとき
 - * 前方車両が車高の低い車両や特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）のとき
 - * 前方車両が路面の水たまりに映り込んでいるとき
- ・ 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - * 滑りやすい路面を走行しているとき
 - * 勾配のある路面を走行しているとき
 - * 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
- ・ 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

■ON／OFFのしかた

- ・エマージェンシーブレーキスイッチを押すごとにON／OFFが切り替わります。

スイッチの表示灯	ON／OFF状態
点灯	ON
消灯	OFF



ZPA1443

- ・OFFにすると、システムが停止します。
(エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯します)



知識

- ・エンジンを再始動するとONになります。

■警告表示

エマージェンシーブレーキ警告灯はメーター内にあります。



ZPA1357

- ・次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - * エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにしたとき
 - * DSCをOFFにしたとき
- ・次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - * フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - * 前方からの強い光によりカメラが前方を認識できなくなったとき
 - * 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します）
- ・システムに異常があると、メーター内のエマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。

➡ 対処方法

- ・ 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ・ フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。

 エマージェンシーブレーキ警告灯…
P.78

■ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

 P.109をお読みください。

目次


警告

走行する前に

走行するとき

室内
装
備
の
使
い
か
た車
と
あ
い
か
手
な
つ
き万
一
の
と
きサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

ABS

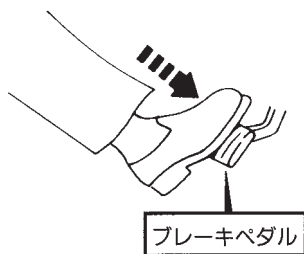
■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- ①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TCA0121Z

- ②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- ③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠ 警告

- ・ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ・ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ・ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- ・キースイッチをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- ・車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた	116
エアコンについて	116
吹き出し口について	117
オゾンセーフマニュアルエアコン	119
●オーディオの使いかた	121
オーディオについて	121
アンテナについて	121
AM/FMラジオ	123
●室内装備品の使いかた	127
サンバイザー	127
時計	127
マップランプ	128
ルームランプ	129
ラゲッジルームランプ	130
電源ソケット	130
カップホルダー	131
ペンホルダー	133
ビジネスファイルボックス	133
グローブボックス	134
ショッピングフック	134
アシストグリップ	135
リヤコートフック	135
カードホルダー	135
電源コンセント (AC100V・100W)	136
フロアカーペット	137

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあい

万のとき

サービスデータ

さくいん

エアコンの使いかた

エアコンについて

■内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。



警告

- ・内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。



アドバイス

- ・外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効が悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

■エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。



知識

- ・エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■クリーンフィルターについて

ほこり、花粉、粉じんなどを集めるためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

交換時期：

1年ごと、または12,000km走行ごと



アドバイス

- ・交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
- ・クリーンフィルターの取り付け、交換などについては、マツダ販売店にご相談ください。

■長期間エアコンを使わないとき

エアコン装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房、または除湿暖房をしてください。



アドバイス

- ・外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。

■エアコンガス

この車のエアコンガスはHFC134a (R134a)を使用しています。

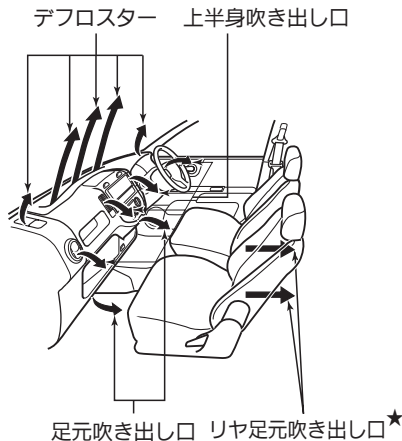


アドバイス

- ・エアコンガスは必ずHFC134a (R134a)を入れてください。
- ・地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
- ・エアコンの冷え具合が悪いときは、マツダ販売店にご相談ください。

吹き出し口について

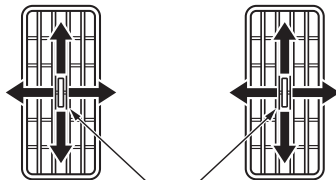
■吹き出し口の位置



ESG0921Z

■吹き出し風向の調節

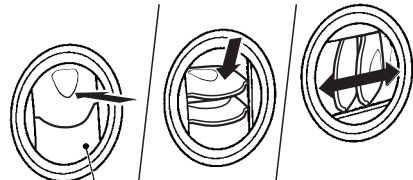
- ・ 上半身中央吹き出し口は、ツマミを上下、または左右に動かして調節します。



ツマミ

ESG0703Z

- ・ 上半身左右の吹き出し口はフィン自体を左右に回したり、フィンの角度を変えて方向調節をします。
- ・ フィンを倒すと吹き出し風量を少なくすることができます。



フィン

ESE1344Z

⚠ 注意

- ・ 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

📖 知識

- ・ 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

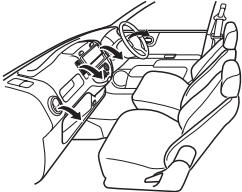
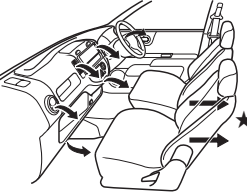
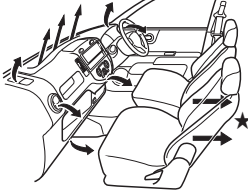
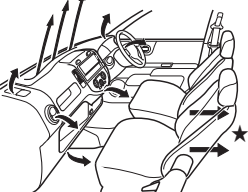
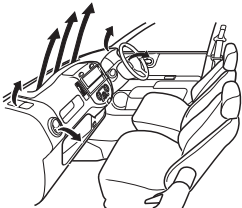
サービスデータ

さくいん

■吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口切り替えダイヤルを回して切り替えます。

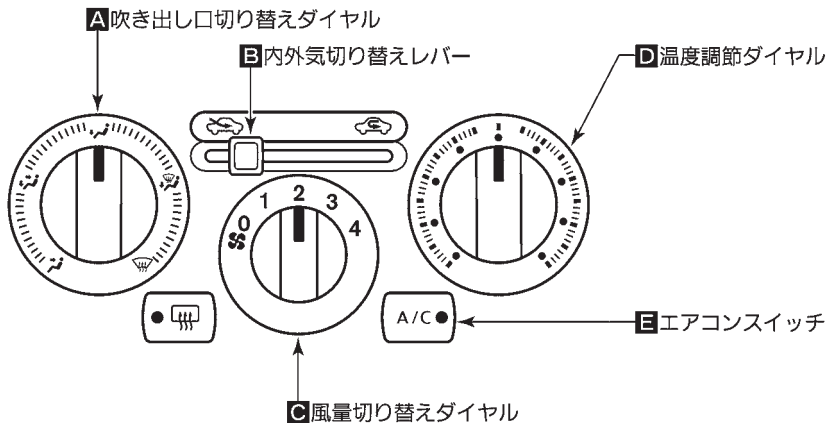
○切り替えダイヤル位置はP.119をお読みください。

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表 示	 TCE0007Z	 TCE0008Z
吹き出し口	 ESG0713Z	 ESG0714Z
使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表 示	 TCE0009Z	 ESC0145Z
吹き出し口	 ESG0715Z	 ESG0716Z
使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき	
表 示		
吹き出し口	 ESG0717Z	

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

オゾンセーフマニュアルエアコン

- ・ エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。



ESF0357Z

■吹き出し口の切り替えかた

- ・ 吹き出し口切り替えダイヤル**A**を回します。
(冷房：❧、暖房：❧)

■内気循環・外気導入の切り替えかた

- ・ 内外気切り替えレバー**B**を動かして外気導入と内気循環を切り替えます。

レバー	使用目的
外気導入  左側	通常はこの位置で使います。 外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
内気循環  右側	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。

■風量の切り替えかた

- ・ 風量切り替えダイヤル**C**を回します。
(1：風量少ない～4：風量多い)

■温度調節のしかた

- ・ 温度調節ダイヤル**D**を回します。
(左側：低温、右側：高温)

■エアコンの切り替えかた

- ・ エアコンスイッチ**E**を押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動/停止が切り替わります。
 作動：表示灯が点灯
 停止：表示灯が消灯
- ・ 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチ**E**が点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使用かた

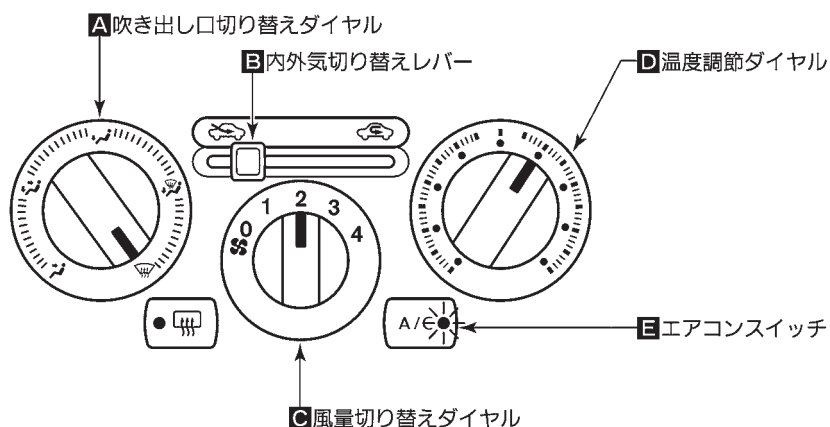
車と
あ
い
か
た
な

万
一
の
と
き

サ
ー
ビ
ス
デ
ー
タ

さ
く
い
ん

■窓ガラスのくもりの取りかた



ESE0647Z

- ①吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にします。
- ②内外気切り替えレバー**B**を外気導入（左側）にします。
- ③風量切り替えダイヤル**C**を回して風量を調節します。
（1：風量少ない～4：風量多い）
- ④温度調節ダイヤル**D**を高温側（右側）に回します。
- ⑤エアコンスイッチ**E**を押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

* 止めるときは、風量切り替えダイヤル**C**を0（OFF）の位置にします。

⚠ 注意

- ・吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウィンドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。
くもりが取れにくくなります。
- ・早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

📖 知識

- ・窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

オーディオの使いかた

オーディオについて

■安全運転のために

運転中は車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。

⚠ 警告

・音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中のオーディオ操作は前方不注意となるおそれがあります。車を停止させてから操作してください。

■ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持できないことがあります。

📖 知識

・オーディオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

アンテナについて

⚠ 注意

・アンテナを調節するときや脱着するときは、周囲の安全を十分に確認してから行ってください。

🚗 アドバイス

・アンテナを調節するときや脱着するとき、アンテナの根元を持って行ってください。

・次のような場合には、必ずアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。

- * 洗車機を使うとき。
- * ボディカバーを掛けるとき。
- * 降雪時に長時間駐車するとき。

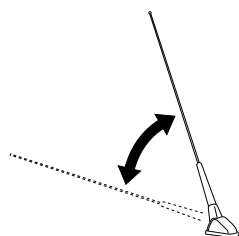
📖 知識

・屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

■調節のしかた

アンテナの角度は無段階に調節できます。

- ・アンテナの根元を持って動かします。



ESC0991Z

アドバイス

- ・アンテナが当たるような場所以外では倒したままにしないでください。車体に当たり、塗装面を傷つけるおそれがあります。

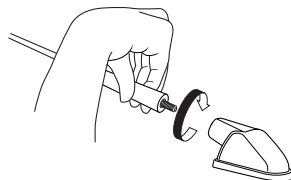
知識

- ・アンテナは、調節範囲の中間あたりの位置にして使うことをおすすめします。

■外しかた

洗車機を使うときなどに外します。

- ・アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。

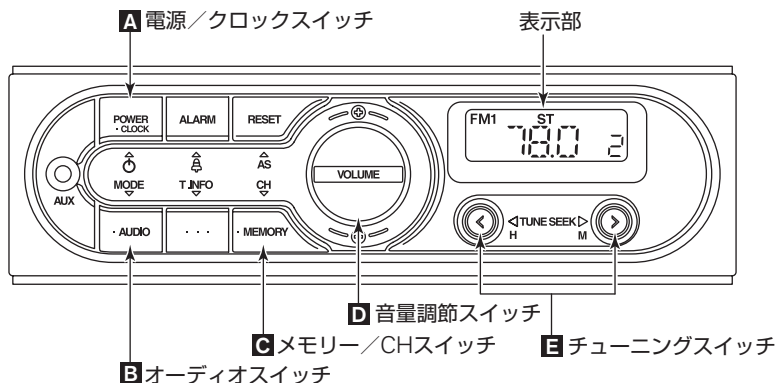


ECF0079Z

- * 取り付けるときはアンテナの根元を持ち、逆方向に回します。

AM/FMラジオ

電源、音量・音質・バランスの調節



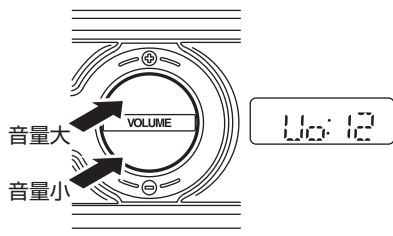
ZAA1014

■電源の入れかた

電源／クロックスイッチ**A**を押します。スイッチを押すごとにON↔OFFが切り替わります。

■音量調節

音量調節スイッチ**D**を押して調節します。
(表示部に「Vo: 0 ~ 31」と表示)



ZAA1015

■音質、バランスの調節

オーディオスイッチ**B**を2秒以上押すと“ピッ”という音がしてオーディオ調節モードに切り替わります。メモリー／CHスイッチ**C**を押すと次の順で各モードに切り替わります。

BA → TR → BL

知識

・調節時に約5秒間操作しないと、自動的にオーディオスイッチ**B**を操作する前の表示に戻ります。

チューニングスイッチ**E**を押して、各モードの調節をします。

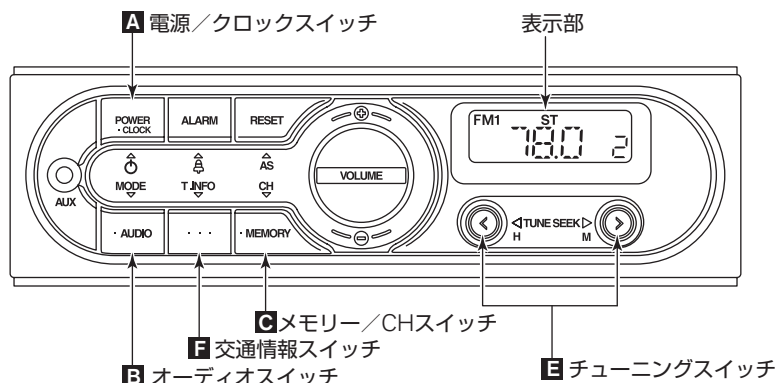
表 示		<	>
音 質 調 節	BF (-5~+5)	低音弱	低音強
	TR (-5~+5)	高音弱	高音強
バ ラ ンス 調 節	BL (L5~R5)	左側大	右側大

⌚時計の調整について…P.127

知識

・「0」はそれぞれの中央値を表します。

ラジオの聞きかた



ZAA1019

■ラジオ放送を聞くとき

①電源を入れます。

- ・キースイッチをAcc、またはONにし、電源／クロックスイッチ**A**を押します。表示部に周波数が表示され、約5秒後に時計表示になります。

②放送の種類を選択します。

- ・オーディオスイッチ**B**を押します。押すごとにAM→FM1→FM2→AUX (AU) →AMの順に切り替わります。
(表示部に「AM」、「FM1」、「FM2」、または「AU」と表示)

③聞きたい放送局を選局します。

- ・あらかじめ記憶されている放送局を選局するときは、メモリー／CHスイッチ**C**を押します。
(表示部に周波数とCH (チャンネル) 番号を表示)
●放送局の記憶のしかた…P.125
- ・記憶された以外の放送局を選局するときは、チューニングスイッチ**E**を押します。
●放送局の選局のしかた…P.125

* ラジオを止めるときは、電源／クロックスイッチ**A**を押します。

■放送局の選局のしかた

チューニングスイッチを押すと周波数が変わります。

＞…周波数が高くなる

＜…周波数が低くなる

自動選局

- ・チューニングスイッチの、＞側、または＜側を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。

手動選局

- ・チューニングスイッチの、＞側、または＜側を一回ずつ押すと、周波数が1ステップずつ変化します。



知識

- ・受信電波が弱く自動選局できないときは、手動選局してください。

■放送局の記憶のしかた

よくお聞きになる放送局をメモリーチャンネル1～6に登録することができます。メモリー／CHスイッチを押すと、簡単に登録した放送局を聞くことができます。

- ①記憶させたい放送局を選局し、メモリー／CHスイッチを長押しすると“ピッ”と音が鳴りチャンネル表示が点滅します。
- ②メモリー／CHスイッチを押して記憶させたいチャンネルに切り替えます。
- ③メモリー／CHスイッチを長押しすると“ピッ”という音が鳴り、チャンネルが記憶されます。
(設定時の表示を確認)



知識

- ・チャンネル1つにつき、AM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶できます。
- ・バッテリーを外したときは、放送局の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、放送局の記憶をやり直してください。

■表示部の表示内容

- ・受信中の周波数及び以下の表示をします。

AM……AM放送受信時

FM1

…FM放送受信時

FM2

ST ……FMステレオ放送受信時
(感度がよいとき)

1～6 …AM・FM1・FM2のメモ
リーチャンネル

■交通情報を聞くととき

- ・交通情報スイッチを押します。交通情報受信中に＜＞ボタンを押すと1620kHzと1629kHzを切り替えます。
(表示部に周波数を表示)

- * 止めるときは、もう一度交通情報スイッチを押すかオーディオスイッチを押します。



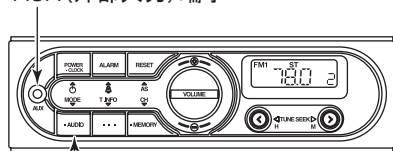
知識

- ・交通情報スイッチには、あらかじめAM放送の1620kHzが記憶されています。

AUX（外部入力）端子の使いかた

ポータブルオーディオなど市販の外部機器を接続して再生することができます。

AUX（外部入力）端子



オーディオスイッチ

ZAA1020

- ①外部機器に付属、または市販の接続ケーブルを外部機器に接続し、AUX（外部入力）端子に接続します。
 - ・接続ケーブルは、ステレオミニプラグφ3.5mmに対応しています。
- ②AUXモードになっていない場合は、オーディオスイッチを押して、外部入力（AUX）に切り替えます。
 - ・オーディオスイッチを押すごとに、AM→FM1→FM2→AUX（AU）→AMの順に切り替わります。

⚠ 注意

- ・AUX（外部入力）端子に接続したケーブルや外部機器は、運転の妨げにならないようにしてください。

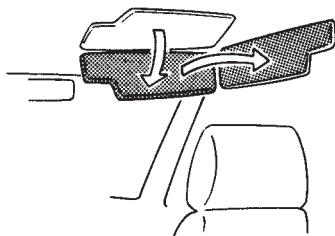
📖 知識

- ・接続する外部機器によっては、外部機器から聞くとときよりも大きな音量（または小さな音量）で再生される場合がありますので注意してください。
 - ・接続ケーブルのプラグに触れると、雑音が入る場合があります。
 - ・外部機器接続時、オーディオ本体で外部機器の操作をすることはできません。（音量、音質調整のみ可能です。）
 - ・オーディオ表示部に、外部機器で再生している曲名などを表示することはできません。
 - ・外部機器の電源は、専用のバッテリー等を使ってください。AUX端子で外部機器の充電はできません。
- また、電源ソケット（⌀P.130）で充電しながら再生すると雑音が入る場合があります。

室内装備品の使いかた

サンバイザー

- ・ 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- ・ 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



TCA0128Z

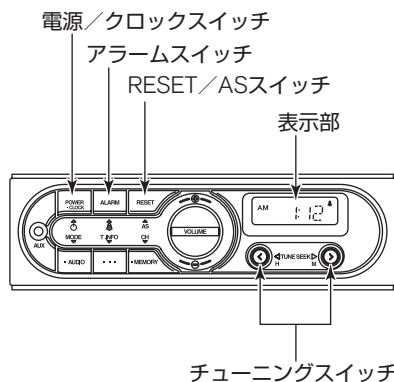
時計

キースイッチの位置に関係なく、オーディオの表示部に表示します。



知識

- ・ バッテリーを外したときは、時刻の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。



ZAA1021

■時刻を合わせるとき

- ①電源／クロックスイッチを1秒以上押しと“ピッ”という音が鳴り、表示部の時刻表示が点滅します。
- ②チューニングスイッチを押して時刻を調節します。スイッチを押し続けると、早送りされます。
 <：“時” 合わせ
 >：“分” 合わせ
- ③時刻を調節したあとRESET／ASスイッチを押します。



知識

- ・ 時刻を調節したあと、電源／クロックスイッチを押すと、時刻の調節は完了しますが、同時にラジオの電源もON／OFFします。
- ・ 表示部の時刻表示が点滅している状態で15秒経過すると、そのときの表示時刻が設定されます。

■アラームを使うとき

あらかじめ設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

- ①アラームスイッチを2秒以上押すと“ピッ”という音が鳴り、表示部の時刻表示と  マークが点滅します。
- ②チューニングスイッチを押してアラームを鳴らしたい時刻を調節します。

＜：“時” 合わせ

＞：“分” 合わせ

- ③アラームスイッチを押します。表示部の時刻表示と  マークの点滅が止まりアラームの設定が完了します。
- ・アラームはラジオを聞いているときでもラジオの音声と同時に鳴ります。
 - ・アラームは設定した時刻になると3分間鳴り続けます。アラームを止めるときは電源／クロックスイッチ以外のボタンを押します。

■アラームのON／OFF切り替え

アラームのON／OFFを任意に切り替えることができます。

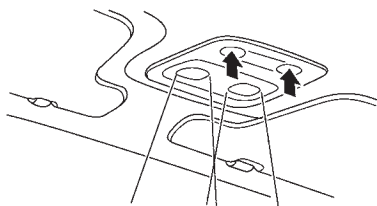
- ・アラームスイッチを押すごとに表示部の  マークが点灯／消灯し、アラームのON／OFFが切り替わります。

📖 知識

- ・電源／クロックスイッチを押してもアラームは止めることができますが、同時にラジオの電源もON／OFFします。
- ・アラームのON／OFF切り替えは、ラジオの電源がOFFでも行えます。
- ・バッテリーやヒューズを取り外すと設定したアラーム時刻は消去されます。
- ・アラームはキースイッチの位置に関係なく作動します。ご使用にならないときはアラームをOFFにしてください。

マップランプ*

- ・スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



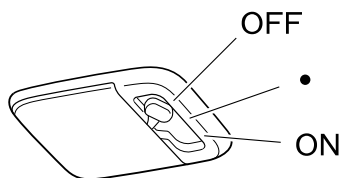
TCA0476Z

🚗 アドバイス

- ・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ルームランプ

スイッチ 位 置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
● (中立)	通常はこの位置で使います。 ドア（バックドアを除く） を開けると点灯し、閉めると 消灯します。 (キースイッチにキーが差し 込まれていないとき、運転 席ドアを閉めると約15秒間 点灯後、消灯します。)
OFF	消灯



ESA1312Z

アドバイス

- ・ エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーが上がりエンジンの始動ができなくなります。

バッテリーセーバー

- ・ スイッチが中立位置のとき、ドアを開けたまま約30分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動してルームランプが点灯・消灯します。

- ・ ルームランプスイッチが中立位置にあり、キーが抜かれているときに作動します。

乗車時

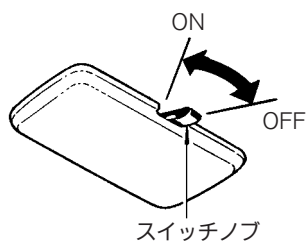
- ・ 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ・ ルームランプ点灯中に、キースイッチをONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

降車時

- ・ キーをキースイッチから抜き取ると、ルームランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ・ ルームランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

ラゲッジルームランプ

スイッチ 位 置	点灯・消灯のしかた
ON	通常はこの位置で使います。 バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯



TCA0276Z

アドバイス

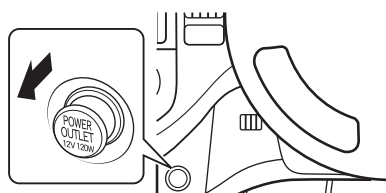
- ・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーが上がりエンジンの始動ができなくなります。

電源ソケット

キースイッチがAcc、またはONのとき使えます。

- ・カーアクセサリーの電源をとるときに使います。
- ・キャップを引き抜いて使います。
- ・使わないときは、キャップをしてください。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。



ZAA0254

⚠ 注意

- ・2マタソケットなどでタコ足配線をしてしないでください。
- ・安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- ・相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車両のヒューズが切れる場合があります。
- ・相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、キースwitchをOFFにします。
- ・使用中及び使用直後はソケット及び相手プラグが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- ・ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ・ソケットには指や金属などを入れないでください。

🔧 アドバイス

- ・バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、アイドリング状態で長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォグガーなどを同時に使わないでください。

カップホルダー

⚠ 警告

- ・運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・飲物がこぼれたときは、すみやかにふき取ってください。

⚠ 注意

- ・飲物にはふたをするなどしてこぼさないように注意してください。走行中の振動や揺れなどで飲物がこぼれることがあります。熱い飲物の場合、やけどをするおそれがありますので注意してください。

■運転席用カップホルダー

- ・カップホルダーを引き出して使います。
- ・カップホルダーの上面にペットボトルのキャップを置くことができます。
- ・使わないときは、格納しておきます。

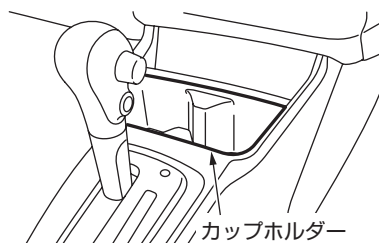


ECG0032Z

🚗 アドバイス

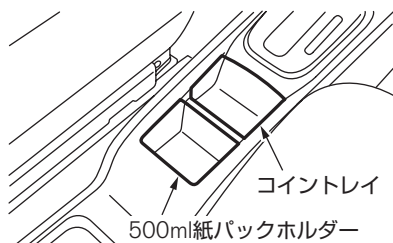
- ・キャップ置きにコインなどを置かないでください。カップホルダーを格納したときにインストルメントパネルの内側に落ちて取れなくなるおそれがあります。

■カップホルダー（2WD車）



ZAA1057

■500ml紙パックホルダー（2WD車）



ZAA1058

■助手席用カップホルダー（4WD車）



🚗 アドバイス

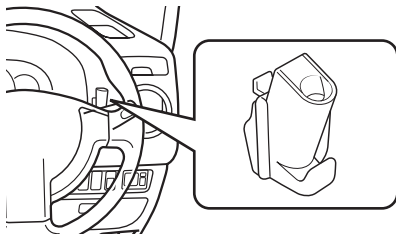
- ・コイントレイには飲物を置かないでください。走行中に倒れるおそれがあります。

⚠️ 注意

- ・紙パックのふたを閉められるものは必ずふたを閉めてください。

ペンホルダー

- ・ペンホルダーの下は、フックになっています。買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



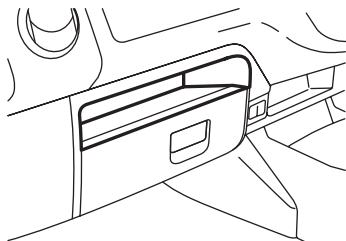
ESG0659Z

⚠ 注意

- ・フックを使うときは、アクセルやブレーキペダルの操作の妨げにならないように注意してください。
- ・0.5kg以上の物を掛けないでください。フックが破損するおそれがあります。

ビジネスファイルボックス

- ・A4サイズまでのバインダーや書類などを入れることができます。
- ・A4サイズのものは横向きに入れてください。



ZAA1061

⚠ 注意

- ・ビジネスファイルボックスには、大きくはみ出るものや、転がりやすいものを入れないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、または収納物に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と
あいの
上手な
つかい

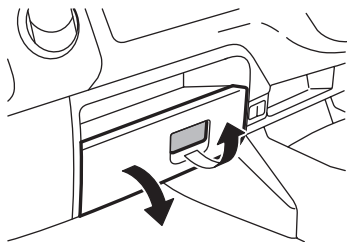
万の
のとき

サー
ビス
デー
タ

さく
いん

グローブボックス

- ・ノブを手前に引いて開けます。
- ・閉めるときは車両前方に押して閉めます。



ZAA1054

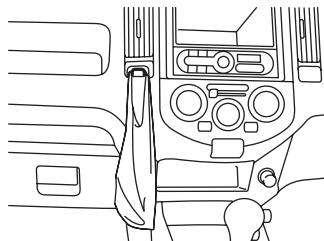
⚠ 注意

- ・グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、またはふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ・ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

ショッピングフック

インストルメントパネル

- ・買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



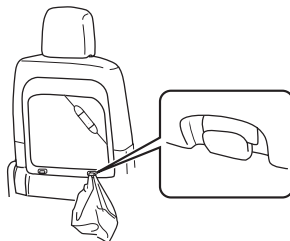
ZAA1055

⚠ 注意

- ・5kg以上の物を掛けしないでください。フックが破損するおそれがあります。

助手席シート背もたれ★

- 2箇所あります。
- ・買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



ESG0650Z

⚠ 注意

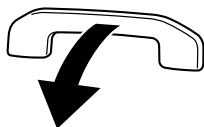
- ・1箇所あたり2kg以上の物を掛けしないでください。フックが破損するおそれがあります。

アシストグリップ

助手席及び後席左右★についています。

助手席

- ・引き出して使います。

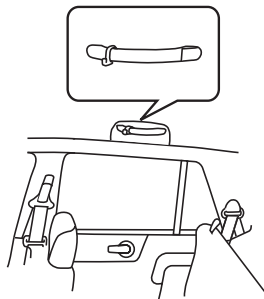


ESF0398Z

後席★

固定式です。

- ・右側には、コートフックが付いています。



ESG0663Z

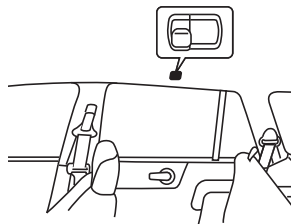


注意

- ・3kg以上の物を掛けしないでください。フックが破損するおそれがあります。

リヤコートフック

コートなどの衣類を引っ掛けるときに使います。

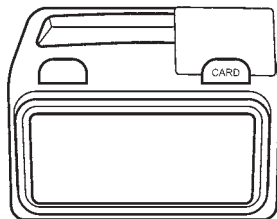


ESG0664Z

- ＊アシストグリップ付車は、形状が異なります。

カードホルダー

- ・領収書や通行券などを挟んで使います。



ZAA0255

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあい

万のとき

サービスデータ

さくいん

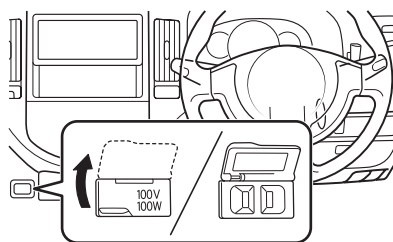
電源コンセント(AC100V・100W)

キースイッチがONのとき使えます。

- ・電気製品（100V）の電源をとるときに使います。

容量は100V（ボルト）、1A（アンペア）、100W（ワット）までです。

- ・電源コンセントのふたを開けてコンセントを差し込みます。



ZAA1062

⚠ 注意

- ・コンセントに水などがかからないようにしてください。また、ぬれた手でコンセントを抜き差ししたり、金属などをコンセントに差し込まないでください。感電したり故障するおそれがあります。

🔌 アドバイス

- ・バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。エンジン停止時に長時間使わないでください。
- ・アイドリング時に長時間使ったときなど、エンジンがかかっているにもかかわらず車両条件によってはバッテリーがあがることがあります。
- ・電気製品の消費電力が100W以下であっても正常に作動しない場合があります。
 - * 起動時の消費電力が大きい機器（ブラウン管テレビ、電動工具など）
 - * 電源周波数の切り替えのある機器（時計など）
 - * 精密なデータを測定する機器（医療機器、計測器など）
 - * その他（マイコン制御式電気毛布など）
- ・使う電気製品によってはラジオ、テレビに雑音が入ることがあります。
- ・コンセントを抜き差しするときは、接続機器の電源スイッチをOFFにしてください。
- ・分岐コンセントなどでタコ足配線をしないでください。

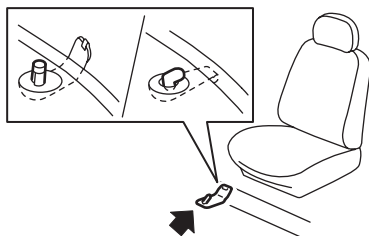
フロアカーペット★

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■固定のしかた

床面には純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。

- ①フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
- ②フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。



ZSS0043

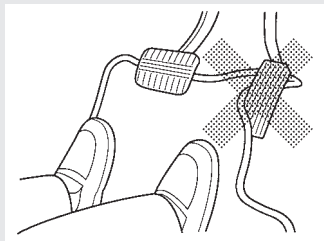
※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、マツダ販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

- ・この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席にフロアカーペットを敷くときは

- ・純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- ・フロアカーペットでペダルを覆わない。
- ・フロアカーペットを重ねて敷かない。
- ・フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- ・運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- ・フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。



ESD0143Z

運転する前に

- ・フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- ・エンジン停止時及びセレクトレバーがPのときに各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないよう運転に支障がないことを確認する。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と
あんな
上手な

万の
とき

サー
ビス
デー
タ

さく
いん

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために……………	140
雨の日の快適ドライブ……………	140
夏の快適ドライブ……………	141
寒冷時の取り扱い……………	142
タイヤチェーンについて……………	146
●お手入れのしかた……………	147
外装のお手入れ……………	147
内装のお手入れ……………	149
その他のお手入れ……………	150
タイヤの交換……………	151

目次

△
警告走行
する
前に走行
する
とき室内
装
備
の
使
い
か
た車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た万
一
の
と
きサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウィンドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口をにして、吸い込み口は外気導入にします。冬でもエアコン（冷房・除湿機能）を活用してください。

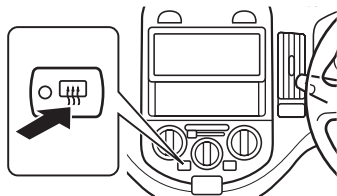
●窓ガラスのくもりの取りかた…
P.120

知識

- ・早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

バックドアガラス

リヤウィンドーデフォグガススイッチ（P.87）を使い、くもりを取ってください。



ESG0981Z

■ガラスが油膜でガラガラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- ・油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ・ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ・ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。
- ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

高水温警告灯が点灯したら、安全な場所に停車して冷やしてください。

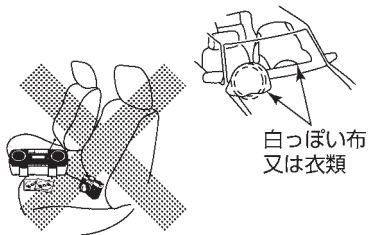
○オーバーヒートしたときは…P.180

🚗 アドバイス

- ・地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

⚠ 警告

- ・お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ・炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直接日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- ・車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- ・洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

●サービスデータ（エンジンオイル）
…P.192

■バッテリー液の点検、補給

●メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（青）（50%希釈品）、または純正ロングライフクーラントをお使いください。

●サービスデータ（冷却水）…P.193

アドバイス

- ・寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしています。
- ・冷却水の点検・補充・交換はマツダ販売店にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- ・冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（●P.151）
- ・タイヤチェーンはお客様のタイヤサイズに合ったマツダ純正部品をおすすめします。（●P.146）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

●ウオッシャー液の補給…P.150



注意

- ・外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用ワイパーブレードは、ワイパーブレードの金属部分をゴムで包み、雪の付着を少なくするものです。装着するときは、車のサイズに合ったマツダ純正部品をおすすめします。

リヤワイパーブレードについては、寒冷地専用ワイパーアームとセットでお使いください。（寒冷地仕様車を除く）

詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ・高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

🚗 アドバイス

- ・降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

🔍ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠ 警告

- ・ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ・ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ・ワイパー、ドアミラー、ウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ・ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- ・滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- ・雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

●タイヤチェーンについて…P.146

■走行中の雪の付着に注意

- ・ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- ・フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- ・セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- ・フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- ・軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- ・雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- ・凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- ・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

- ・タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。
- ・お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
タイヤチェーンはお客さまの車に適合したマツダ純正部品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについてはマツダ販売店にご相談ください。

■装着の前に

- ・安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- ・パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- ・タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。



注意

不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- ・タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- ・雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- ・タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- ・塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
 - * ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
 - * 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
 - * ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

- ・ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

- ①車体に水をかけながら下回り、車体の順で汚れを洗い落とします。
- ②塗装面は高い位置から低い位置の順に水をかけながら、セーム皮や柔らかいスポンジなどを使い、汚れを落としてください。(汚れがひどいときは、マツダ純正ボディシャンプーを使い、十分水洗いしてください。)
- ③はん点が残らないように、水をふき取ります。

注意

- ・下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

- ・洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- ・硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- ・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。

●アンテナの外しかた…P.121

自動洗車機

ドアミラー（●P.47）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- ・洗車機を使うときは必ずアンテナを外してから行ってください。破損するおそれがあります。
- ・自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ・自動洗車機で洗車すると、リヤワイパー★を破損するおそれがあります。
- ・ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

- ①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- ・塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- ・コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- ・コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。マツダ純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

内装のお手入れ

⚠ 注意

- ・車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・変色やしみなどの原因になるおそれがあるため、次のことをお守りください。
- ・*ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。
- ・*芳香剤などは、中身がこぼれないように確実に固定してから使用してください。また、吊り下げタイプなどは、内装部品に接触しないようにしてください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

🔍フロアカーペット…P.137

掃除機でほこりを
取り除いてから！



TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、マツダ純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

バックドアガラスの清掃

- ・ガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ・ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

🚗 アドバイス

- ・乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ・ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
つきあいかた

万のとき

サービスデータ

さくいん

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

- ・ ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。

純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

🔍ウオッシャータンク容量…P.193

⚠ 注意

- ・ ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・ ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- ・ フロントワイパーとリヤワイパー★のウオッシャータンクは兼用です。

タイヤの交換

⚠ 注意

- ・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検についてはマツダ販売店へご相談ください。

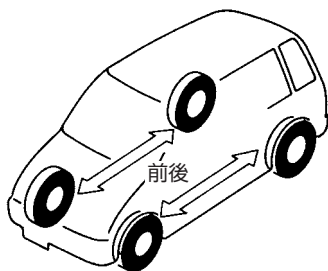
■タイヤの位置交換

(ローテーション)

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

🔍タイヤ交換のしかた…P.176



TSA2431Z

⚠ 注意

- ・タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- ・タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- ・タイヤの位置交換については、マツダ販売店にご相談ください。

📖 知識

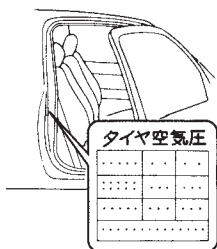
- ・車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。

■タイヤ空気圧の点検

- ・タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。

タイヤ接地部のたわみが大きいたまは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、マツダ販売店にご相談ください。扁平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。

- ・タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- ・タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がる場合があります。
- ・タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



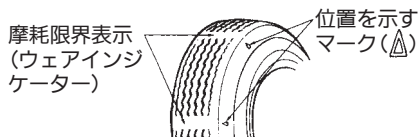
TCB0059Z

⚠ 注意

- ・タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- ・タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- ・タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ指定空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

- ・指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けけないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。またDSCシステムも正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
- ・摩耗差の大きいタイヤの装着
- ・前輪、または後輪だけに冬用タイヤを装着
- ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- ・タイヤの交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

- ・ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

🚗 アドバイス

- ・ロードホイールは、リムサイズやオフセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、マツダ販売店にご相談ください。
- ・タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

万一のとき

6

●ドアが開かないときは……………	154
リモコンでドアが開かない ……………	154
●エンジンが始動しないときは……………	155
ジャンプスタートのしかた ……………	155
●各種警告機能について……………	157
警告灯がついたときは ……………	157
●くもりが取れないときは……………	162
窓ガラスのくもりの取りかた ……………	162
●動かないときは……………	164
セレクトレバーが動かない ……………	164
雪道やぬかるみからの脱出のしかた ……………	165
けん引について ……………	165
●路上で故障したときは……………	168
発炎筒の使いかた ……………	168
故障したときの対処方法 ……………	169
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて……………	170
格納場所 ……………	170
スペアタイヤについて ……………	171
ジャッキアップのしかた ……………	173
●パンクしたときは……………	176
タイヤ交換のしかた ……………	176
●オーバーヒートしたときは……………	180
●ヒューズを点検・交換するときは……………	181
●電球（バルブ）を交換するときは……………	183
●事故がおきたときは……………	189

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
あんな
上手な

万一のとき

サービスデータ

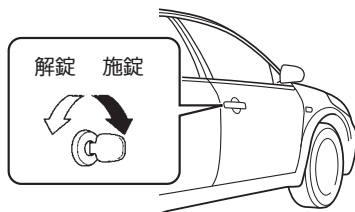
さくいん

ドアが開かないときは

リモコンでドアが開かない

■キーによるドアの施錠・解錠

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。



TSH0072Z

エンジンが始動しないときは

ジャンプスタートのしかた

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- * スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- * ライトがいつもより極端に暗いとき。
- * ホーンの音が小さい、または鳴らないとき。

■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

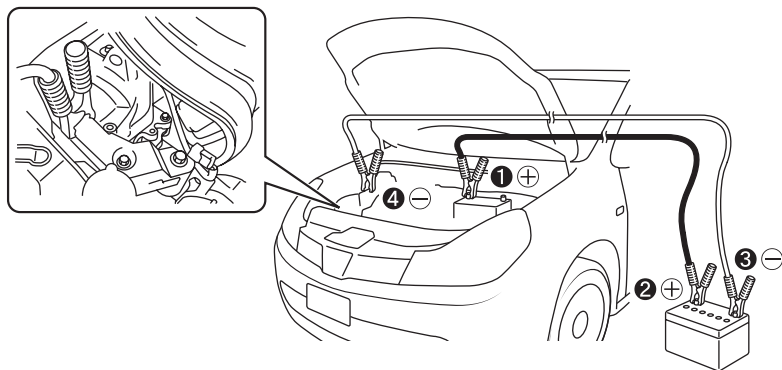
- ① キースイッチをLOCKに戻します。
- ② ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ① 自車（あがった）バッテリーの⊕端子
- ② 救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

2本目

- ③ 救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④ 自車のエンジン本体（バッテリーから離れたステーなど）



ZCE0715

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

⚠ 警告

- ・ ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- ＊ ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ＊ ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ＊ ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

- ③ 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
- ④ 自車のエンジンをかけます。
 - ・ エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
 - ・ エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。
- ⑤ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑥ 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

⚠ 警告

- ・ バッテリーを充電するときは換気を十分行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- ・ バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

⚠ 注意

- ・ ブースターケーブルのワニグクリップは、車体に触れたり、他のワニグクリップと接触しないように注意してください。
- ・ ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ・ ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

🚗 アドバイス

- ・ 押しがけでの始動はできません。
- ・ バッテリーはお客さまの車に適合したマツダ純正部品をおすすめします。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

各種警告機能について

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯、または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

●車両故障のおそれがない表示灯については、P.67をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
油圧警告灯 	・キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ・エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、マツダ販売店に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。
故障警告灯（MIL） 	・キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ・エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。	点灯、または点滅したときは、ただちにマツダ販売店に連絡してください。
充電警告灯 	・キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ・エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、マツダ販売店に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 	・正常なときは、キースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。(パーキングブレーキをかけているときは消灯しません。) ・キースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 * パーキングブレーキをかけたとき。 * ブレーキ液が不足しているとき。 * ブレーキシステムに異常があるとき。	走行中はパーキングブレーキを解除してください。 パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、マツダ販売店に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ABS警告灯 	・キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ・キースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	キースイッチをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
シートベルト警告灯 	・キースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	点灯したときはシートベルトを着用してください。走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
半ドア警告灯 	・キースイッチがONのとき、全ドアが確実に閉まっていないと点灯します。	ドアを確実に閉めてください。走行前に消灯していることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
燃料残量警告灯 	・キースイッチがONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。	点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。
SRSエアバッグ警告灯 	・キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。 ・キースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。	キースイッチをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。 キースイッチをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

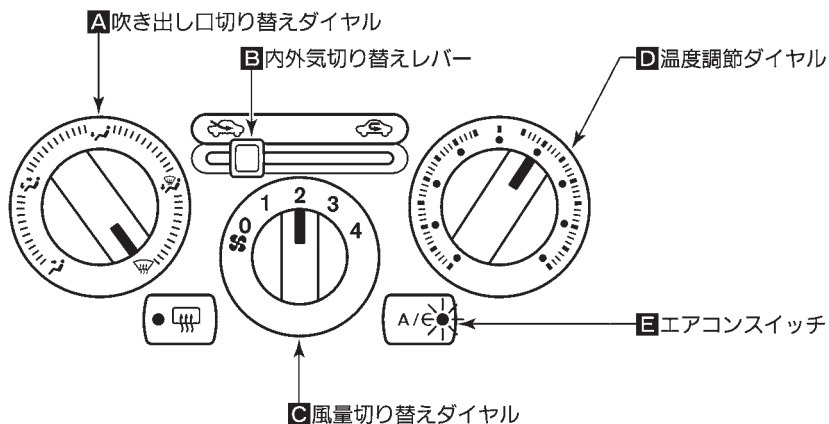
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
高水温警告灯 (赤色表示) 	・キースイッチをONにすると約2秒間点灯後、消灯します。 ・エンジン回転中、エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき点灯します。	点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して処置してください。 ●オーバーヒートしたときは…P.180
DSC警告灯★ 	・キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ・DSC作動中に点滅します。 ・キースイッチがONのときDSCのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。
EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 PS	・キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ・エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。
LDW (車線逸脱警報) 警告灯★ 	・キースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ・右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、点滅します。 ・LDW (車線逸脱警報) に異常があると、点灯します。	点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
エマージェンシーブレーキ警告灯★ 	・キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ・次の場合に点灯します。 * エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにしているとき * DSCをOFFにしているとき * エマージェンシーブレーキのシステムに異常が発生しているとき ・次の場合に点滅します。 * フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき * 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき * 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき	点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、マツダ販売店で点検を受けてください。フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 エマージェンシーブレーキスイッチをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 DSCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。

くもりが取れないときは

窓ガラスのくもりの取りかた

■フロント、サイドウィンドーガラス



ESE0647Z

- ①吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にします。
- ②内外気切り替えレバー**B**を外気導入（左側）にします。
- ③風量切り替えダイヤル**C**を回して風量を調節します。
（1：風量少ない～4：風量多い）
- ④温度調節ダイヤル**D**を高温側（右側）に回します。
- ⑤エアコンスイッチ**E**を押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、風量切り替えダイヤル**C**を0（OFF）の位置にします。

⚠ 注意

- ・吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウィンドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

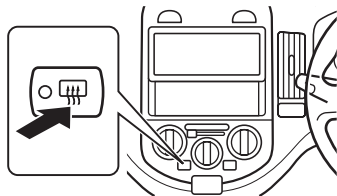
- ・吹き出し口切り替えダイヤル**A**をデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。
くもりが取れにくくなります。
- ・早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

📖 知識

- ・窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

■バックドアガラス

リヤウインドーデフォグスイッチ (P.87) を使い、くもりを取ってください。



ESG0981Z

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
あんな
上手な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

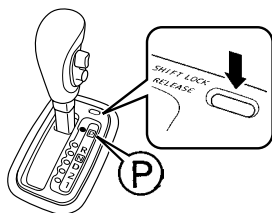
動かないときは

セレクトレバーが動かない

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロック解除ボタンを使います。

4AT車

- ①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
- ②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



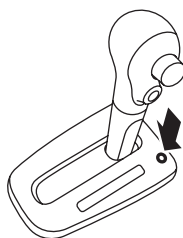
TSD0168Z

🚗 アドバイス

- ・解除ボタンを押すときは、先の細い物で押してください。
- ・セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム (OP.22) などの故障が考えられます。すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

CVT車

- ①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。
- ②シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



ZPA1439

🚗 アドバイス

- ・セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム (OP.22) などの故障が考えられます。すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

- ①DSC付車は、DSC OFFスイッチを押してDSCをOFFにします。
- ②車両の前後に障害物がないことを確認します。
- ③ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。
- ④ゆっくりとアクセルペダルを踏み込み、前進または後退します。周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

警告

- ・周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周辺に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- ・必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ・数回試しても脱出できないときは、マツダ販売店またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

けん引について

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずにマツダ販売店へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけマツダ販売店、または専門業者に依頼してください。

 JAFの営業所一覧…別冊の「サービス網お客様相談窓口」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

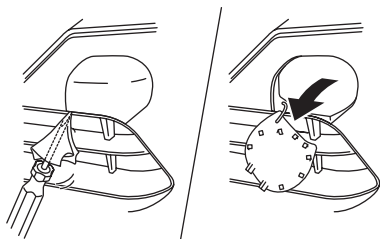
注意

- ・けん引してもらうときは、キースイッチをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
- ・エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- ・長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所ではけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- ・4WD車はトレーラーに搭載するか、4輪接地の状態ではけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- ・DSC付車の前輪を上げてけん引するときは、エンジンスイッチをONにしないでください。DSCが作動しブレーキがかかることがあります。

アドバイス

- ・けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損することがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- ・けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

- ①カバーの溝にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。



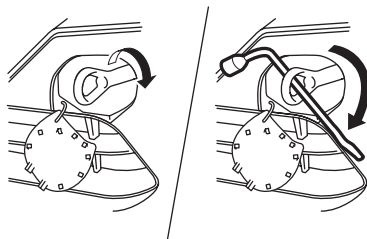
ZCE0717

アドバイス

- ・工具に布などをあてながら外してください。車体に傷をつけるおそれがあります。

- ②けん引フックをホイールナットレンチを用いて確実に取り付けます。

 工具…P.170



ZCE0718

- ③自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

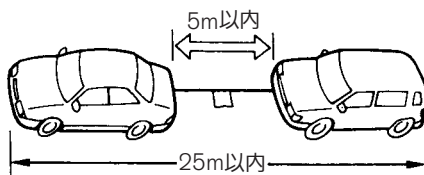
注意

- ・指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

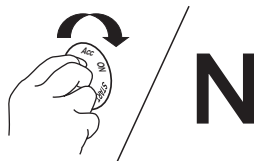
- ・ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

- ④ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TSA2438Z

- ⑤エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーをNにします。

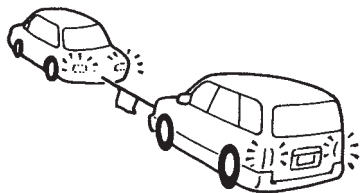


ECE0142Z

注意

- ・エンジンをかけられないときは、キースイッチをAcc、またはONにしてください。

- ⑥パーキングブレーキを解除します。
⑦けん引中はロープをたるませない
ように、前の車の制動灯に注意し
てください。



TCC0130Z

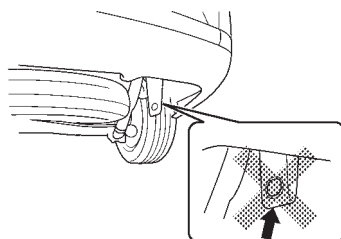
*使い終わったら、けん引フックを
取り付けた逆の手順で取り外しま
す。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは車両輸送時の固
定用です。

けん引には絶対に使わないでくだ
さい。

この車で他車をけん引することは
できません。



ESG0711Z

アドバイス

- ・けん引用として使うと、車両を損傷する
おそれがあります。

路上で故障したときは

発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

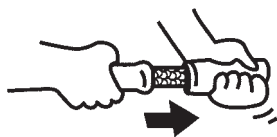
- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



発炎筒

TSG0060Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

警告

- ・お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- ・可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- ・点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- ・トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

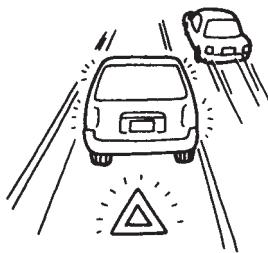
- ・点火後は約5分間燃え続けます。
- ・発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- ・発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前にマツダ販売店でお買い求めください。

故障したときの対処方法

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
 発炎筒（○P.168）で後続車に危険を知らせてください。

■路上で故障したとき

- ①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
- ②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板、または停止表示灯を置きます。



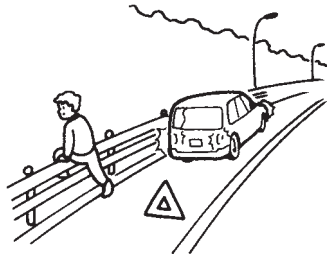
TCA0210Z



知識

- ・高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

- ③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

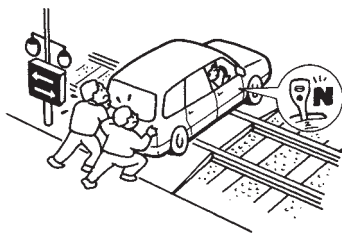


TCA0211Z

- ④安全を確保後、救援を頼みます。

■エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押しもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TCA0551Z

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。



注意

- ・エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCA0212Z

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

- ・工具、ジャッキは、ラゲッジルームに格納されています。
- ・スペアタイヤは、ラゲッジルーム床下に搭載されています。



ESG0647Z

- スペアタイヤの取り出しかた… P.171
- ジャッキの取り出しかた… P.173

⚠ 注意

- ・工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・工具、ジャッキ格納部のふたは確実に閉めてください。閉まりにくいときは、ふたの縁の部分を押し込んでください。

📖 知識

- ・停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- ・工具の種類やジャッキ、発炎筒（● P.168）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

スペアタイヤについて

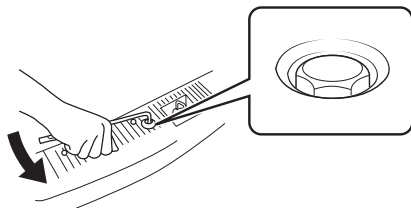
スペアタイヤは車両装着タイヤを搭載してあります。

⚠ 注意

- ・スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
- ・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検についてはマツダ販売店にご相談ください。
- ・スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■スペアタイヤの取り出しかた

- ①バックドアを開けます。
- ②車載工具（OP.170）のホイールナットレンチを使い、ボルトをゆっくりゆるめます。

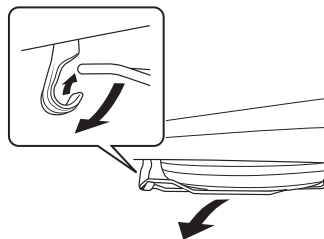


ESG0712Z

⚠ 注意

- ・ボルトは30～40回転程度回してゆるめてください。50回転以上回すとタイヤハンガーが落ち、思わぬケガをするおそれがあります。

- ③タイヤハンガーを手で持ち上げ気味に支えながらハンガーをフックから外し、ゆっくり降ろしてタイヤを取り出します。



ESG0645Z

* 格納するときは、タイヤの外側を上にして、スペアタイヤハンガーに取り付け、取り出したときと逆の手順で行ってください。

 注意

- ・ハンガーやハンガー取付部に異常があるときは、マツダ販売店で修理してからお使いください。
- ・ジャッキアップ中はスペアタイヤの脱着を行わないでください。
- ・タイヤは重いので、取り出すときは正しい姿勢で行ってください。
- ・スペアタイヤを格納するときは、ボルトをしっかり締め付けてください。タイヤが外れるおそれがあります。

ジャッキアップのしかた

⚠ 警告

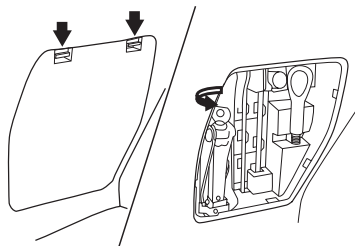
- ・ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ・ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
 - * ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
 - * ジャッキはタイヤ交換、またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - * 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - * 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
 - * 輪止めなどで車を固定してください。
 - * ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - * 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ジャッキの取り出しかた

- ①ラゲッジルーム左側のふたを取り外します。
 ○格納場所…P.170
- ②ジャッキを緩めて取り出します。



ESG0646Z

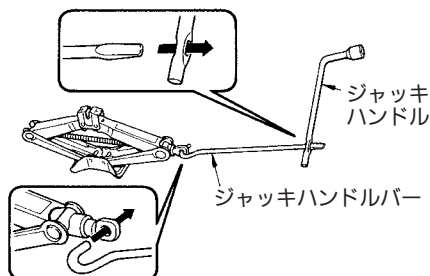
- * 格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。

🚗 アドバイス

- ・ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けしないでください。ジャッキ取付部が変形するおそれがあります。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

- ・ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



TCA0215Z

🚗 アドバイス

- ・ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

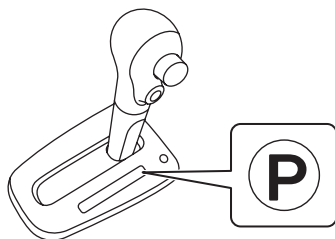
■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

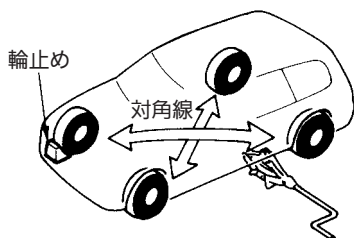
- ・やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

- ①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにし、エンジンを止めます。



ZCE0719

- ②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
- ・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSA2453Z

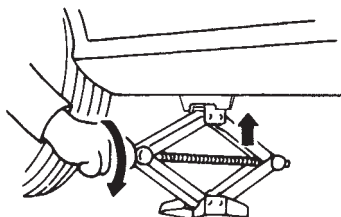
⚠ 注意

- ・ やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

📖 知識

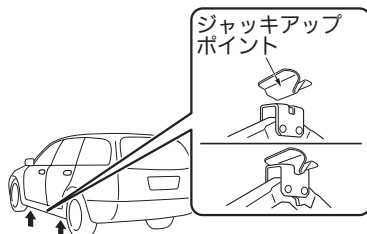
- ・ 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TSC0026Z

ジャッキアップポイント

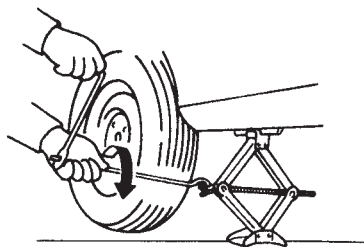


ESE0705Z

🚗 アドバイス

- ・ ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TSC0027Z

⚠ 注意

- ・ ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

⚠ 注意

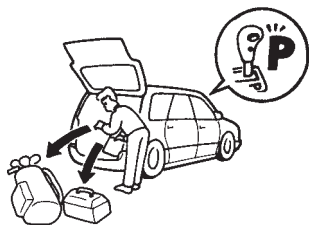
- ・タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- ・人や荷物を降ろします。
- ・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置きます。
- ・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

🔍 ジャッキアップのしかた…P.173

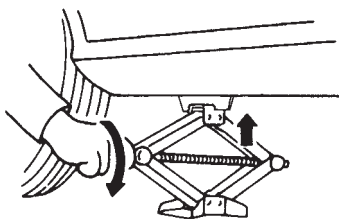
🔍 スペアタイヤの取り出ししかた…P.171



TSB0311Z

② ジャッキをセットします。

- ・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（🔍 P.175）の中央に入るまで上げます。
- ・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

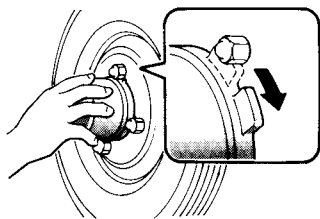


TSC0026Z

🚗 アドバイス

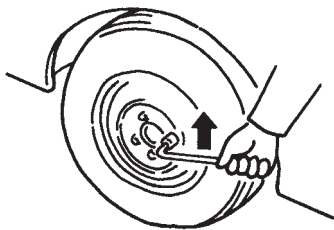
- ・スペアタイヤを置くときは、ホイール表面を上にしてください。

③ センターキャップを手で回して外します。



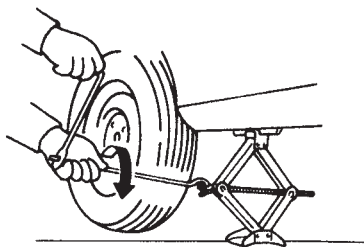
TCC0068Z

- ④ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。



TCA0287Z

- ⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

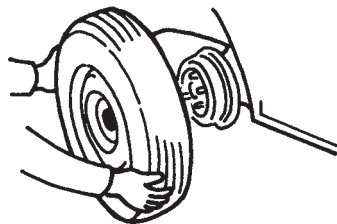


TSC0027Z

注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



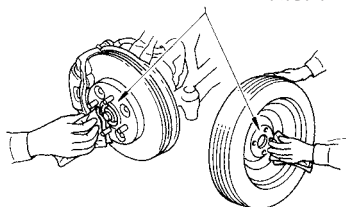
TCA0178Z

アドバイス

- ・タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

- ⑦ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

ホイールとハブの取付面

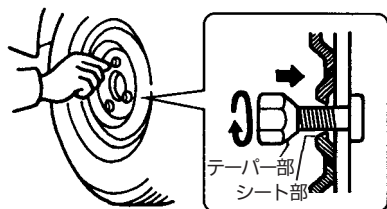


TCE0099Z

注意

- ・取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- ・スペアタイヤは凹んでいる側(裏面)を内側にして取り付けてください。

- ⑧ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

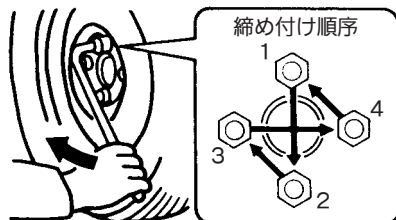


TSA2228Z

⚠ 警告

- ・ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリスなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

- ⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

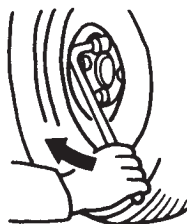


TSA2229Z

- ⑩ジャッキを下げます。

さらにナットを⑨の締め付け順序で十分に締め付けます。

* ホイールナット締め付けトルク
108N・m (11kgf・m)



TSA2230Z

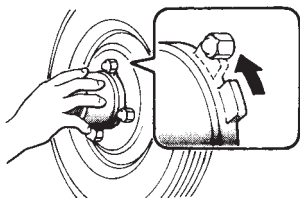
⚠ 注意

- ・ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ・ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

⑪センターキャップを取り付けます。



TCC0069Z

⑫使用した工具、ジャッキなどをラゲッジルームに格納します。

パンクしたタイヤは、スペアタイヤ格納部に格納します。

⚠ 注意

- ・タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

🚗 アドバイス

- ・走行する前に必ずタイヤハンガーが格納されていることを確認してください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

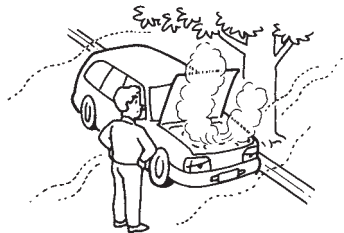
- * 高水温警告灯 (⓪P.76) が点灯したとき。
- * エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

警告

- ・ エンジンルーム内は高温になっているため、ボンネットを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・ エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

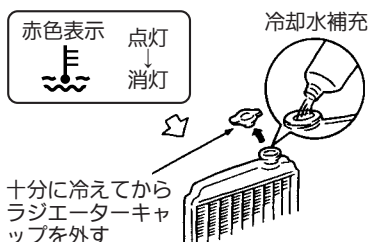


TCA0214Z

警告

- ・ 蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。

- ③高水温警告灯が消灯したら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



TSC0005Z

- ④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水 (⓪P.193) を補充してください。
 ⓪ラジエーター、リザーバータンク位置…P.195、196
 ⓪サービスデータ (冷却水) …P.193

アドバイス

- ・ 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度高水温警告灯が点灯したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。
- ⑥早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

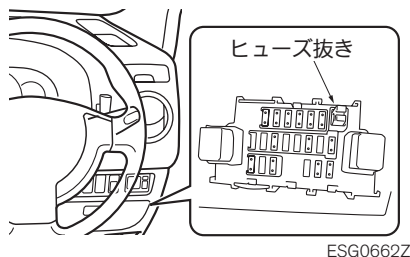
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

この車には、スペアヒューズは付いていません。ヒューズについては、マツダ販売店などでご購入ください。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは運転席インストルメントパネル右下とエンジンルームにあります。

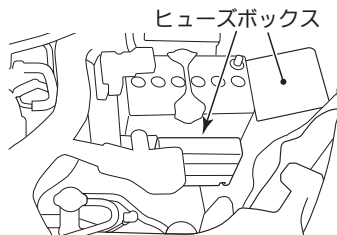
運転席足元



ESG0662Z

エンジンルーム

バッテリーの前側と右側にあります。



ESE0698Z

* イラストは、HR15DEエンジン搭載車です。

知識

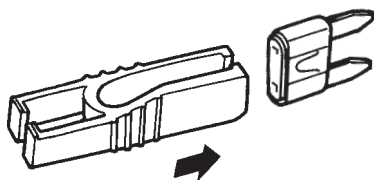
・ バッテリーの右側のヒューズを交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

■ヒューズの位置

- ・ ヒューズボックスのふたに表示しています。
- ・ 車種により、付いていないヒューズがあります。

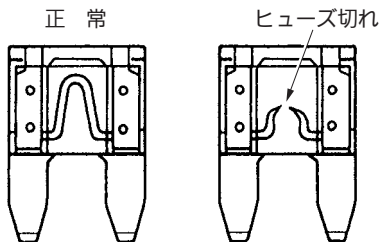
■ヒューズの交換のしかた

- ① キースイッチをLOCKにします。
- ② ヒューズボックスのふたを開けます。
- ③ ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TSD0302Z

- ④ ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCA0169Z

**警告**

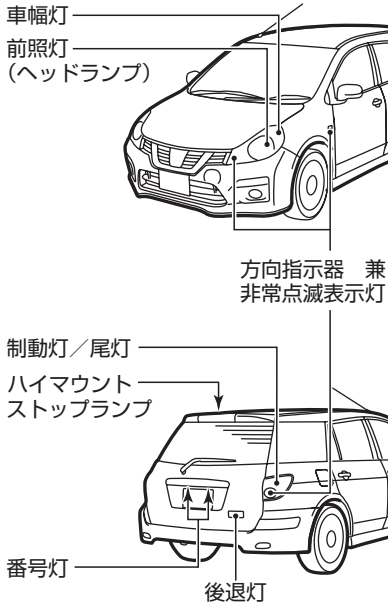
- ・規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

**アドバイス**

- ・交換してもヒューズが切れるときは、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ・ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

電球（バルブ）を交換するときは

ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。



ZCE0733

- ・バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、マツダ販売店にご相談ください。

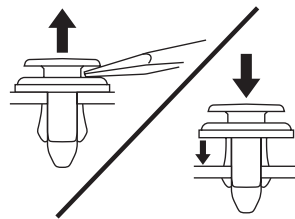
クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

次のような方法で、各クリップを脱着してください。

クリップA

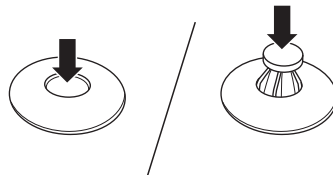
- ・切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- ・取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0745Z

クリップB

- ・先の細い工具などでクリップの中央部を押し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- ・取り付けるときは、クリップの中央部を下から押し出してから取り付け、指でクリップの中央部を押し込みます。



ESG0743Z

目次

警告

走行する前に

走行するとき

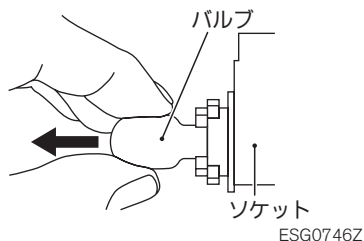
室内装備の
使いかた車とあ
いかな
うな

万のとき

サービ
スデー
タさく
いん

■バルブの外しかた

各バルブ（前照灯〔ヘッドランプ〕を除く）をソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。



■バルブ交換のしかた

- ・ 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・ 指定された容量のバルブ（P.194）に交換してください。
- ・ 交換したあとは、点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。



注意

- ・ バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- ・ バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ・ ステアなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

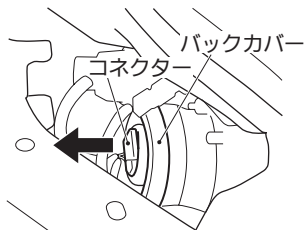


アドバイス

- ・ 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- ・ 前照灯（ヘッドランプ）はハロゲンバルブのため、バルブ内の圧力が高く、落としたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いに十分に注意してください。また、素手でガラス部分に触れないでください。油などが付着すると寿命が短くなります。

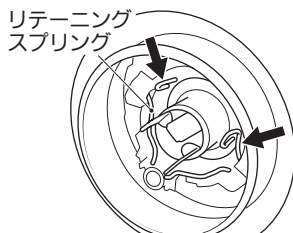
前照灯（ヘッドランプ）

- ①ボンネット（●P.34）を開けます。
- ②コネクターを引き抜きます。
- ③バックカバーを外します。



ESG0747Z

- ④リテーニングスプリングの両端を内側に押し込みながら外し、バルブを交換します。



ESG0748Z

- ⑤取り外したときと逆の手順でリテーニングスプリングとバックカバーを取り付けます。

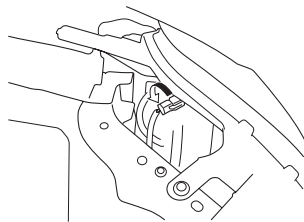
🚗 アドバイス

- ・リテーニングスプリングは必ず両端が固定されたことを確認してください。
- ・バックカバーは確実にはめ込まれていることを確認してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。

- ⑥コネクターを“カチッ”と音がするまで押し込みます。

車幅灯

- ①ボンネット（●P.34）を開けます。
- ②ソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。

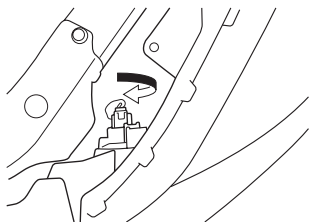


ESG0749Z

- ③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

- ①ボンネット（●P.34）を開けます。
- ②ソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。

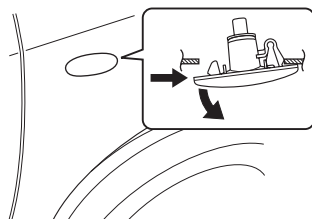


ESG0751Z

- ③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）

- ①レンズを車両前方に押しながら手前に引き抜きます。

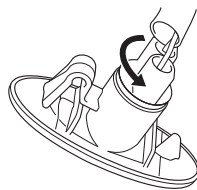


ESG0752Z

🚗 アドバイス

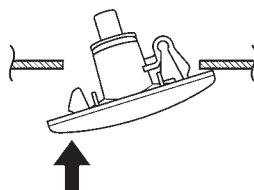
- ・無理に力を加えないで下さい。破損するおそれがあります。また、反対（車両後方）側に押すと取り外せる場合もあります。

- ②ソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。



ESG0753Z

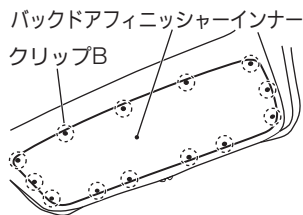
- ③レンズの車両前方（クリップ）側から差し込み、レンズを押し込んで取り付けます。



ESG0754Z

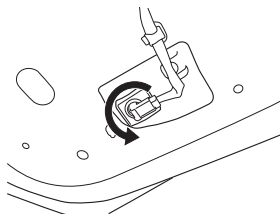
後退灯

- ①バックドアを開けます。
- ②クリップBを外し、バックドアフィニッシャーインナーを外します。



ESG0755Z

- ③ソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。

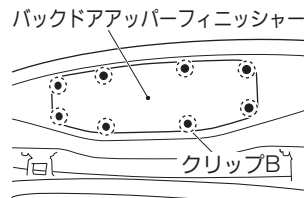


ESG0756Z

- ④取り外したときと逆の手順でソケットとバックドアフィニッシャーインナーを取り付けます。

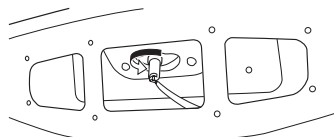
ハイマウントストップランプ

- ①バックドアを開けます。
- ②クリップBを外し、バックドアアッパーフィニッシャーを外します。



ESG0757Z

- ③ソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。

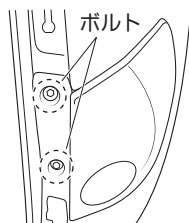


ESG0758Z

- ④取り外したときと逆の手順でソケットとバックドアアッパーフィニッシャーを取り付けます。

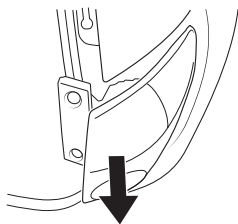
方向指示器兼非常点滅表示灯（後面） 制動灯／尾灯

- ①バックドアを開けます。
- ②ボルトをお手持ちの工具を使って外します。



ESG0759Z

- ③ランプを持ち、車両後方にまっすぐ引いて外します。

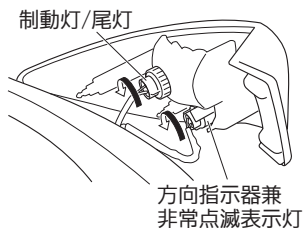


ESG0760Z

アドバイス

- ・車両後方にまっすぐ引き抜いてください。横方向に力を加えるとランプが破損するおそれがあります。

- ④方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）、または制動灯／尾灯のソケットを矢印の方向に回してから引き抜き、バルブを交換します。

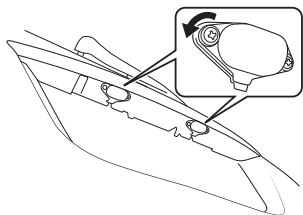


ESG0761Z

- ⑤取り外したときと逆の手順でソケットとランプを取り付けます。

番号灯

- ①2箇所のねじをお手持ちの工具（プラスドライバー）で矢印の方向に回し、レンズを外します。



ESG0762Z

- ②バルブを交換します。
- ③取り外したときと逆の手順でレンズを取り付けます。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売店と保険会社への連絡

ご購入された販売店と加入の保険会社へ連絡をします。

目次

△
警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装備の
いた

つ車
きあ
い上
か手
たな

万
一
の
と
き

サ
ー
ビ
ス
デ
ー
タ

さ
く
い
ん

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。
ご使用前に必ずお読みください。

- ・点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- ・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

■点検値

項 目		点 検 値	
ウオーターポンプ・オルタネーター・エアコンコンプレッサーベルト	たわみ量 約98.1N（約10kg）で 押したとき	HR15DE	5～10mm
		HR16DE	5～8mm
ブレーキペダル	遊び	3～11mm	
	床板とのすき間 約490N（約50kg）で 踏んだとき	90mm以上	
パーキングブレーキ	踏みしろ 約196N（約20kg）で 操作したとき	2WD	4～5ノッチ
		4WD	6～7ノッチ

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使用つ車と
あの上
か手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

■交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。下記は、おおよその規定量です。実際の量は、わずかに異なることがあります。交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

なお、詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

項 目	適 用	規定量（ℓ）		指定銘柄
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジン オイル	HR15DE	2.8	3.0	ゴールドENECO（API SN/ILSAC GF-5、SAE 0W-20）
	HR16DE			ゴールドENSN（API SN/ILSAC GF-5、SAE 5W-30）

〈指定銘柄以外のエンジンオイルについて〉

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：API規格 SM、SNをお使いください。

ILSACマークのついたものをおすすめします。



APIマーク



ILSACマーク

ZTI0060

粘度：下記粘度（SAE規格）のものをご使用ください。

HR15DE：0W-20

HR16DE：5W-30

項 目	適 用	規定量 (ℓ)	指定銘柄
オートマチック トランスアクスル フルード	HR16DE	7.6	純正ATF M-Ⅲ
CVTフルード	HR15DE	6.9	純正CVTフルード NS-3 ※1
リヤデファレンシャル オイル	4WD	0.8	純正ロングライフハイポイド (90)
トランスファー オイル	4WD	0.38	純正ロングライフハイポイド (90)
ブレーキフルード	全 車	—	純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3)
冷却水	全 車	6.7	日産純正スーパーロングライフ クーラント (青)、または純正 ロングライフクーラント
ウオッシャー液	全 車	2.5	純正ウインドウウオッシャー液 ※2

※1：CVTフルードは、専用のCVTフルードを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

※2：外気温に応じて濃度を調節してください。

■電球（バルブ）の容量

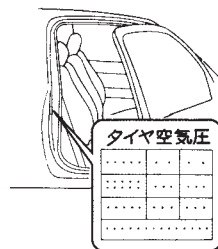
電球（バルブ）		容量（V-W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドランプ）		12-60/55	H4
車幅灯		12-5	W5W
番号灯		12-5	W5W
制動灯／尾灯		12-21/5	W21/5W
ハイマウントストップランプ		12-16	W16W
後退灯		12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前 面	12-21（アンバー）	WY21W
	後 面	12-21（アンバー）	WY21W
	側 面	12-5（アンバー）	WY5W

■タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
165R13-6PRLT	13×5J	100mm (4穴)	40mm
165R14-6PRLT	14×5J		

■タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm²)

タイヤサイズ		空 気 圧	
		前 輪	後 輪
165R13-6PRLT	HR15DE	250 (2.5)	200 (2.0) 〈350(3.5)〉
165R14-6PRLT	HR16DE	220 (2.2)	200 (2.0) 〈350(3.5)〉

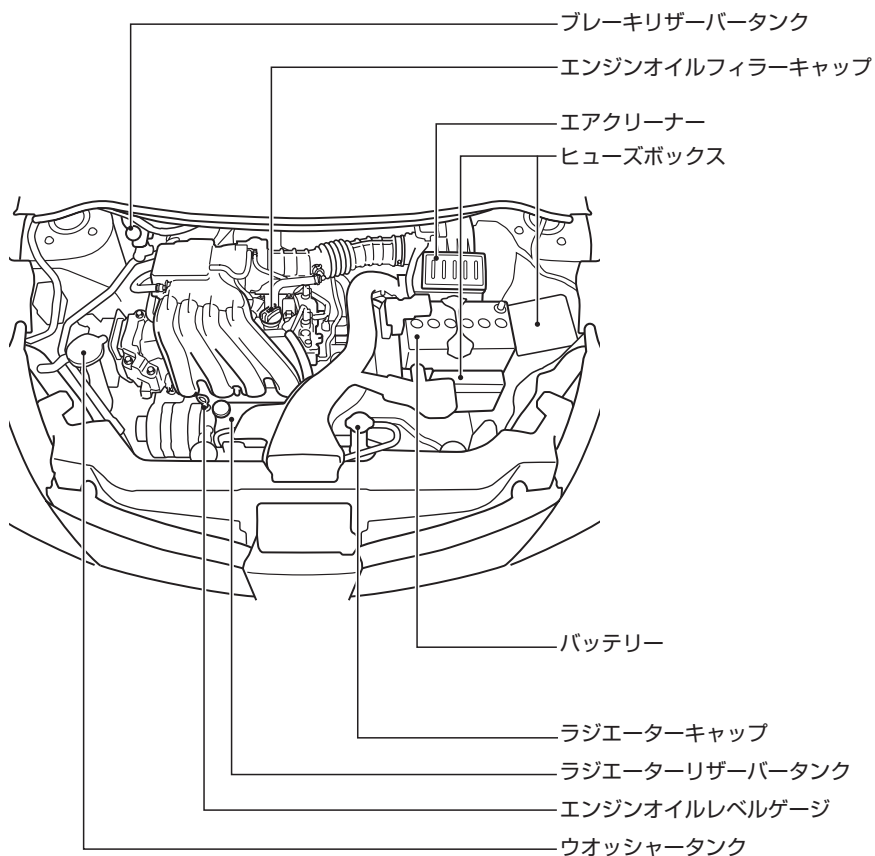


TCB0059Z

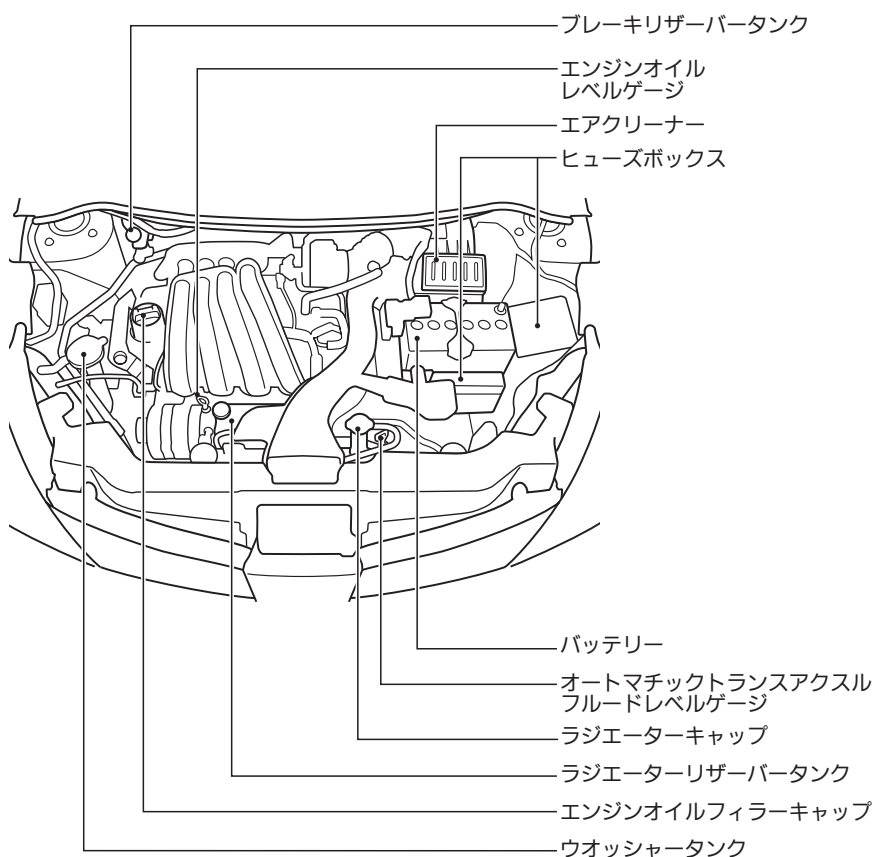
* タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。
〈 〉 内は積載時の空気圧です。

■エンジンルーム内配置図

HR15DEエンジン搭載車



HR16DEエンジン搭載車



■五十音さくいん

※太字は、万一のときや困ったときについての項目です。

ア

アウターミラー（ドアミラー）	47
アシストグリップ	135
アラーム（警報装置）	79
アンチロックブレーキシステム （ABS）→エ：ABS	
アンテナ	121

イ

EPS（電動パワーステアリング）	
警告灯	75
インナーミラー（ルームミラー）	49

ウ

ウインカー →ホ：方向指示器スイッチ	
ウインドーガラス （パワーウインドー）	35
ウオッシャー	
ウオッシャー液（規定量）	193
ウオッシャー液の補給	150
寒冷時の取り扱い	142
操作方法	85
動けなくなったときは	169
ウォーニング（警告灯）	70
運転のしかた	88

エ

エアコン	116
エアバッグ	
SRSEエアバッグ	58
SRSEエアバッグ警告灯	76
AM/FMラジオ	123
A/Tセレクトレバー	90
ABS	
ABS（アンチロックブレーキ システム）	114
ABS警告灯	74
エマージェンシーブレーキ	
エマージェンシーブレーキ 警告灯	78
スイッチ	112
LLC（冷却水）	
寒冷時の取り扱い	142

タンク容量	193
LDW（車線逸脱警報）	
LDW（車線逸脱警報）	107
警告灯	77
スイッチ	108
エンジンオイル	
寒冷時の取り扱い	142
規定量	192
エンジンのかけかた	96
エンジンルームから蒸気が出ているとき	
	180
エンジンルーム内配置図	
HR15DEエンジン搭載車	195
HR16DEエンジン搭載車	196
エンストして始動ができなくなったとき	
	169

オ

オイル	192
応急用タイヤ（車両装着タイヤ）	
格納場所	170
オーディオ	121
オートマチック車の運転のしかた	98
オートライトシステム	82
オートロック機能	28
オーバードライブオフ表示灯	68
オーバードライブスイッチ	92、95
オーバーヒートしたときは	180
オゾンセーフマニユアルエアコン	119
オドメーター	64

カ

カードホルダー	
助手席シートバックパソコン テーブル	43
インストルメントパネル	135
外装のお手入れ	147
カギ	28
ガソリン（使用燃料、燃料補給口、 タンク容量）	39
カップホルダー	131
ガラスのお手入れ （バックドアガラス）	149

寒冷時の取り扱い	142
寒冷地用ワイパーブレードの装着	143

キ

キー	28
キースイッチ	88
キー抜き忘れワーニング	79
キーレスエントリーシステム	28
キー連動室内照明システム	129
キックダウン	21

ク

空気圧 (タイヤ)	194
くもり取り	
デフロスター	120
リヤウインドーデフォッガー	
スイッチ	87
クラクション (ホーンスイッチ)	87
クリアランスランプ→シ: 車幅灯	
クリーブ現象	21
クリーンフィルター	116
車のお手入れ	147
グローブボックス	134

ケ

警告灯	70
警報装置	79
けん引するときは	165

コ

工具 (格納場所)	170
高水温警告灯	76
高水温警告灯 (赤色) が点灯したとき	180
後退灯	
電球 (バルブ) の交換	183
電球 (バルブ) の容量	194
故障警告灯(MIL)	71
故障したときは	170

サ

サービスデータ	191
サイドミラー (ドアミラー)	47

サンバイザー	127
--------	-----

シ

シート

スライド (シート前後位置調節)	41
リクライニング	
(背もたれの角度調節)	41
リフター (シートの上下調節)	42
助手席シートバックパソコン	
テーブル	43
フロントシート	41
リヤシート	45

シートベルト

シートベルトの着用のしかた	50
フロントシート プリテンショナー&	
ロードリミッター機構付	
シートベルト	56
シートベルト警告灯	73
シートベルト非着用時警告音	80

CVT (セレクトレバー)	94
---------------	----

事故がおきたときは	189
-----------	-----

シフトロック解除ボタン	93、96
-------------	-------

シフトロックシステム	22
------------	----

車載工具	170
------	-----

ジャッキ

格納場所	170
ジャッキアップのしかた	173

車幅灯

電球 (バルブ) の交換	183
電球 (バルブ) の容量	194
充電警告灯	71
手動式ウインドー	38
手動式ドアミラー	47
助手席シートバックパソコン	
テーブル	43
ショッピングフック	134

ス

スイッチの使いかた	81
ステアリング (ハンドル)	41
スピードメーター	64
スペアタイヤ	171
スモールランプ→シ: 車幅灯	

スライド（シート前後位置調節） 41

セ

制動灯

電球（バルブ）の交換 183

電球（バルブ）の容量 194

セレクトレバー 90、94

オーバードライブスイッチ 92、95

セレクトレバーが $\square$ から動かせないとき
..... 93、96

洗車のしかた 147

前照灯→ヘッドランプ

ソ

走行するとブザーが鳴る

（シートベルト非着用時警告音） 80

（パーキングブレーキ戻し忘れ
ワーニング） 80

**走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音
がする（ブレーキパッド摩耗警報）** 79

**走行中にブレーキを踏んだとき、
ペダルが振動する（ABS）** 114

速度計（スピードメーター） 64

タ

ターンシグナル→ホ：方向指示器スイッチ
タイヤ

空気圧 194

空気圧の点検 151

スペアタイヤ 171

タイヤチェーンについて 146

タイヤ・ロードホイールサイズ 194

タイヤ・ロードホイールを交換
するとき 152

タイヤの位置交換
（ローテーション） 151

タイヤ交換のしかた

（パンクしたとき） 176

チ

チャージランプ（充電警告灯） 71

チャイルドシート 57

チャイルドブルーフ 32

チルトステアリング 41

テ

DSC（ダイナミック・スタビリティ・
コントロール）

DSC 104

DSC OFF表示灯 69

DSC警告灯 77

低水温表示灯 68

テールランプ→ヒ：尾灯

デフロスター 120

電球（バルブ）を交換するときは 183

電球（バルブ）の容量 194

電源コンセント 136

点検・整備について 191

電動格納式ドアミラー 48

電動パワーステアリング（EPS）

警告灯 75

ト

ドア

フロント・リヤドア 30

バックドア 32

ドアを室内から開けられないとき

（チャイルドブルーフ） 32

ドアミラー 47

時計 127

トリップメーター 65

ナ

内装のお手入れ 149

ナンバー灯→ハ：番号灯

ネ

燃料

燃料 39

燃料計 66

燃料残量警告灯 73

燃料タンク容量 39

燃料補給口 38

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ 89

パーキングブレーキ戻し忘れ	
ワーニング	80
ハイマウントストップランプ	
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
ハザード→ヒ：非常点滅表示灯	
挟み込み防止機構	
（パワーウインドー）	37
発炎筒の使いかた	168
バックドア	32
バックミラー（ルームミラー）	49
バックランプ→コ：後退灯	
バッテリーがあがったときは	180
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	84
ルームランプ	132
パッド摩耗警報	82
バルブを交換するときは	183
パワーウインドー	35
パワーウインドー	
【正常に作動しないとき】	37
パンクしたときは	176
番号灯	
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
半ドア警告灯	74
ハンドル（ステアリング）	41

ヒ

ヒーター付ドアミラー	48
ビジネスファイルボックス	133
非常点滅表示灯	
スイッチ	84
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
尾灯（テールランプ）	
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
ヒューズを点検・交換するときは	181
表示灯	67
ピロー	46

フ

ブースターケーブルのつなぎかた	155
ブザー	
シートベルト非着用時警告音	80
パーキングブレーキ戻し忘れ	
ワーニング	80
フューエルフィルターリッド	
（燃料補給口）	38
フューエルメーター（燃料計）	66
ブレーキ警告灯	72
ブレーキパッド摩耗警報	79
ブレーキペダルを踏むと音がする	25
ブレーキランプ→セ：制動灯	
フロアカーペット	137
フロントシート	41

ヘ

ヘッドランプ	
ライトスイッチ	81
ヘッドランプ上向き表示灯	68
ヘッドランプレベリング	
スイッチ	84
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
ヘッドレスト	
フロントシート	42
リヤシート→ピ：ピロー	
ペンホルダー	133

ホ

ホイールサイズ	194
ホイールナットレンチ	170
防眩式ルームミラー	49
方向指示器スイッチ	
スイッチ	83
電球（バルブ）の交換	183
電球（バルブ）の容量	194
方向指示表示灯	67
ホーンスイッチ	87
ポジションランプ→シ：車幅灯	
ボンネット	34

マ

マップランプ	128
マニュアルウインドー	38
マニュアルエアコン	119

ミ

ミラー	
ドアミラー	47
ルームミラー	49

メ

メーター	64
メンテナンスデータ (サービスデータ)	191

ユ

油圧警告灯	71
雪道を走行するとき	144

ヨ

4AT (セレクトレバー)	90
---------------	----

ラ

ライト消し忘れワーニング	79
ライトスイッチ	81
ライト類が点灯しないとき (バルブの交換)	183
ラゲッジルームランプ	130
ランプ (室内照明)	
マップランプ	128
ルームランプ	129
ラゲッジルームランプ	130
ランプのレンズ内面がくもる	25

リ

リクライニング (背もたれの角度調節)	41
リバースブザー	79
リフター (シートの上下調節)	42
リモコン	28
リヤウインドーデフォグガースイッチ (リヤガラスのくもり取り)	87
リヤコートフック	135

リヤコンピランプ→ヒ : 尾灯	
リヤシート	45

ル

ルームミラー	49
ルームランプ	129

レ

冷却水	
寒冷時の取り扱い	142
冷却水 (規定量)	193
レバー (セレクトレバー)	90、94

ロ

ロードホイールサイズ	194
ロードホイールを交換するとき	152
路上で故障したときは	168

ワ

ワイパー	
寒冷時の取り扱い	142
操作方法	85
ワックスをかけるとき	148

■アルファベットさくいん

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）	114
ABS警告灯	74
A/C（エアコン）	116
AM/FMラジオ	123
A/T（オートマチック）車の運転のしかた	98
A/Tセレクトレバー	90
AV機器	121

C

CVT（セレクトレバー）	94
--------------	----

D

DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）	
DSC	104
DSC OFF表示灯	69
DSC警告灯	77

E

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト	53
---------------------	----

I

INT（ワイパー）	85
-----------	----

L

LDW（車線逸脱警報）	
LDW（車線逸脱警報）警告灯	107
スイッチ	108

M

MIL（故障）警告灯	71
MIST（ワイパー）	85

O

ODOメーター	64
---------	----

P

PS（電動パワーステアリング警告灯）	75
--------------------	----

S

SRSエアバッグ	58
SRSエアバッグ警告灯	76

T

TRIP（トリップメーター）	65
----------------	----

W

W数（電球の容量）	194
-----------	-----

■警告灯さくいん

警告灯が点灯したら、すみやかに適切な処置をしてください。

下記は警告灯のみ記載しています。

その他の表示については表示灯 (P.67) をお読みください。

	油圧警告灯 P.70		ABS警告灯 P.74
	故障警告灯 (MIL) P.71		EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 P.75
	充電警告灯 P.71		高水温警告灯 (赤色表示) P.76
	ブレーキ警告灯 P.72		SRSエアバッグ警告灯 P.76
	燃料残量警告灯 P.73		DSC警告灯★ P.77
			LDW (車線逸脱警報) 警告灯★ P.77
	シートベルト警告灯 P.73		エマージェンシーブレーキ警告灯★ P.78
	半ドア警告灯 P.74		

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の

車とあの手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター
全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00～17:00
土・日・祝日 9:00～12:00 13:00～17:00
携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。
(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1

発行 2017年 1月

印刷 2017年 1月

208頁 初版